

取扱説明書

うすまきオート播種機

**HS-225A
HS-225B
HS-225D**



当製品を安全に、また正しくお使いいただくために必ず
本取扱説明書をお読みください。誤った使いかたをすると
、事故を引き起こすことがあります。
お読みになった後も必ず製品に近接して保存してください。

**HS-225A
うすまきオート播種機 HS-225B を
HS-225D
お買い上げいただき、ありがとうございます。**

はじめに

- この取扱説明書はうすまきオート播種機HS-225A・HS-225B・HS-225Dの取扱方法と使用上の注意事項について記載しております。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みのうえ、正しくお取扱いいただき、最良の状態でご使用ください。
- お読みになったあとも必ず製品に近接して保存してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡しください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合、速やかに当社にご注文ください。
- なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行うことがあります。
その際には、本書の内容および写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、ご了承ください。
- ご不明なことやお気付のことがございましたら、お買上げいただきましたお店、またはお近くの特約店・販売店・農協にご相談ください。
- **▲** 印付きの下記マークは、安全上、特に重要な項目ですので、必ずお守りください。

! 警告

その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

! 注意

その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

- この取扱説明書には安全に作業していただくために、安全上のポイント「安全に作業をするために」を記載しております。使用前に必ずお読みください。

目 次

1. 安全に作業をするために.....	3 ~ 6
2. 安全銘板の貼り付け位置.....	7
3. 本製品の使用目的について.....	7
4. 各部の名称.....	8
5. 仕様.....	9
6. 組立要領.....	10 ~ 13
7. 運転及び操作.....	14 ~ 20
8. 土入れ作業 HS-225B, HS-225D.....	21 ~ 22
9. 散播作業の仕方.....	23
10. 手入れ及び保管上の注意.....	23 ~ 24
11. 故障の診断と処置.....	25 ~ 26
12. パーツリスト.....	27 ~ 46

1. 安全に作業をするために

ここに記載されている注意項目を守らないと、
死亡を含む傷害や事故、機械の破損が生じるおそれがあります。

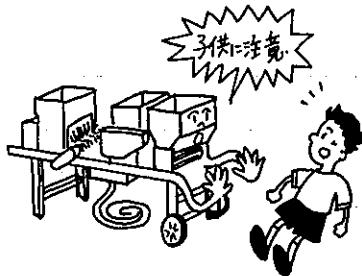
▲警告

子供を近づけない

子供には充分注意し、近づけないようにしてください。

【守らないと】

傷害事故を引き起こすおそれがあります。



▲警告

電気部品・コードを必ず点検

配線コードが他の部品に接触していないか、被覆のはがれや
接触部のゆるみがないかを毎日作業前に点検してください。

【守らないと】

ショートして、火災事故をおこすおそれがあります。



▲警告

2人以上で作業するときは、 お互いに合図しながら機械を始動する

【守らないと】

思わぬ事故になることがあります。



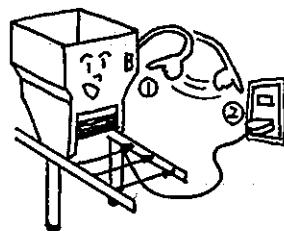
▲警告

点検・整備時には必ず電源を「OFF」 にし、差込みプラグを抜く

点検・整備は、必ず電源を「OFF」にし、差込みプラグを抜いて
から行ってください。

【守らないと】

思わぬ事故をおこします。



▲ 注意

使用前に取扱説明書を必ず読む

使用前に取扱説明書をよく読んで安全で正しい作業をしてください。

【守らないと】

傷害事故や機械の破損をひきおこします。



▲ 注意

こんなときは作業しない

- 過労・病気・薬物の影響、その他の理由により作業に集中できないとき。
- 酒を飲んだとき。
- 妊娠しているとき。
- 18才未満の人。



▲ 注意

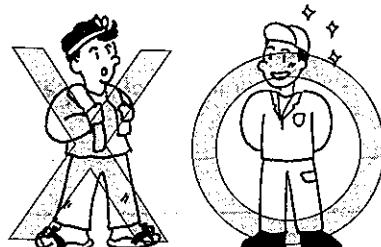
作業に適した服装をする

はち巻き・首巻き・腰タオルは禁止です。

作業に適した、だぶつきの無い服装をしてください。

【守らないと】

機械に巻き込まれたりするおそれがあります。



▲ 注意

点検・整備をおこなう

機械を使う前と後には必ず点検・整備をしてください。

【守らないと】

事故・ケガ、機械の故障をまねくおそれがあります。



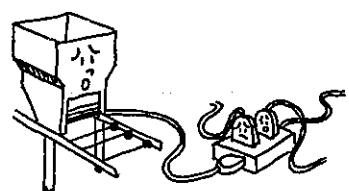
▲ 注意

電源は交流100V専用コンセントに接続する

また、タコ足配線はおやめください。

【守らないと】

火災事故の原因となります。

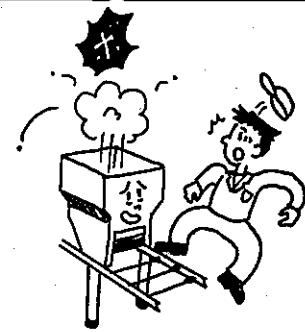


▲ 注意

作業中、停電した場合は、必ず電源スイッチをきる

【守らないと】

通電時、急にまわりだし、思わぬ傷害事故を起こします。

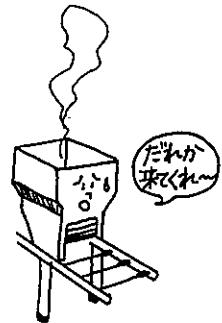


▲ 注意

作業を中断・終了した場合は、必ず電源スイッチを切る

【守らないと】

ショートして、火災の原因になることがあります。



▲ 注意

カバー類は必ず取り付ける

点検・整備などで取り外したカバー類は、必ず取り付けてください。



▲ 注意

機械を他人に貸すときは取扱方法を説明する

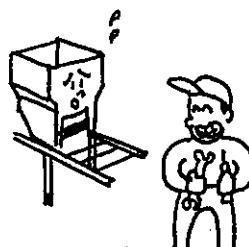
取扱方法をよく説明し、使用前に「取扱説明書」を必ず読むように指導してください。



▲ 注意

機械の改造禁止

純正部品や指定以外のアタッチメントを取り付けないでください。
改造をしないでください。



【守らないと】

事故・ケガ、機械の故障をまねくおそれがあります。

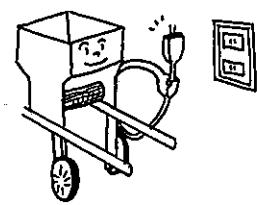
▲ 注意

後始末を忘れずに

長時間使用しないときは、差込みプラグをコンセントから抜いてください。

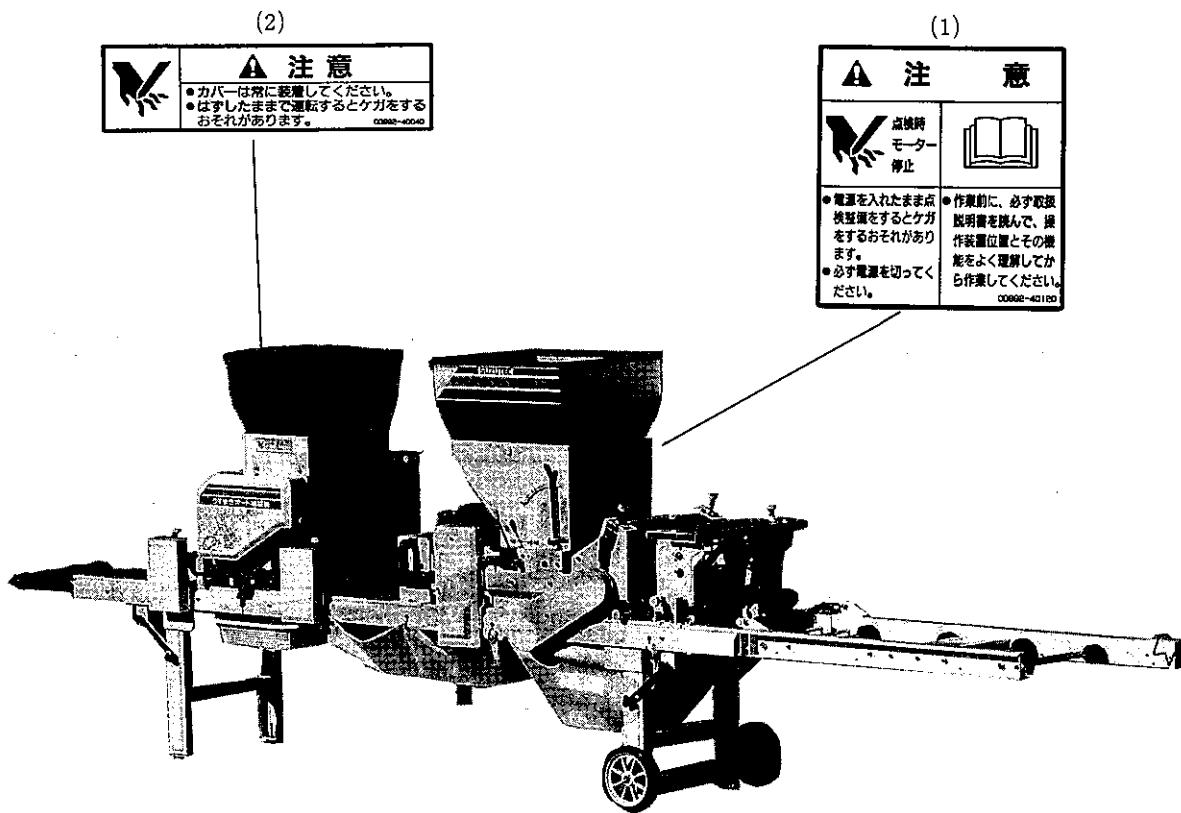
【守らないと】

火災事故や感電事故のおそれがあります。



2. 安全銘板の貼り付け位置

安全に作業していただくために安全銘板の貼り付け位置を示したものです。
安全銘板は常に汚れや破損のないように保ち、もし破損・紛失した場合は、新しいものに貼り直してください。



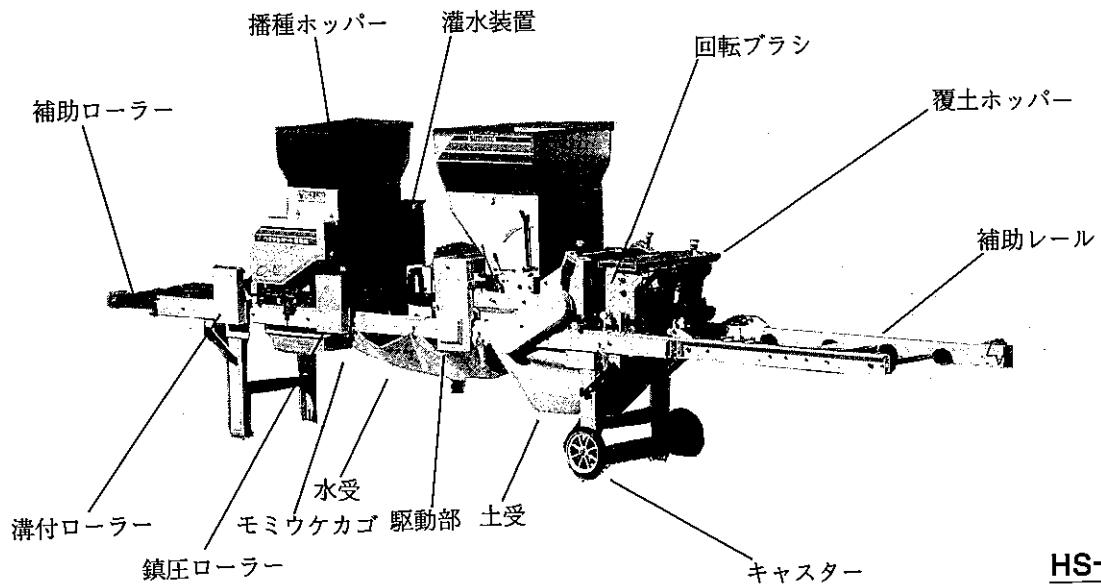
紛失または破損された場合には、当社に下記の表を参考にご注文ください。

No	部品番号	部品名称
(1)	00992-40120	注意ラベル CL-9
(2)	00992-40040	注意ラベル CL-3

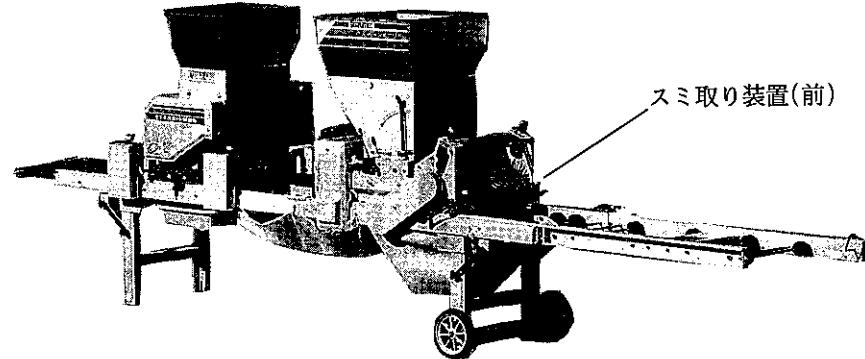
3. 本製品の使用目的について

本製品は、育苗箱への土入れ・播種・覆土の作業機としてご使用ください。
使用目的以外の作業や改造などは、決してしないでください。

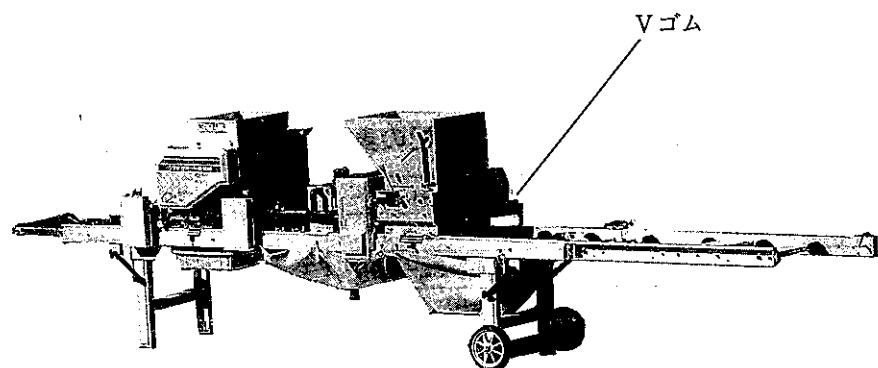
4. 各部の名称



HS-225D



HS-225B



HS-225A

5. 仕様

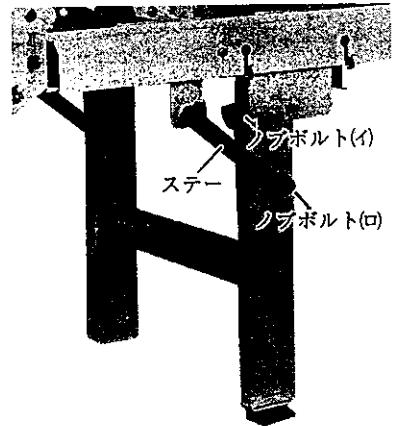
型 式		HS-225D	HS-225B	HS-225A			
条 数		20条 (18条はオプション)					
全 長		3,520mm (格納時2300mm)					
全 幅		520mm					
全 高		1,074mm		874mm			
重 量		82kg	77kg	72kg			
動 力	搬 送	25W/100V					
	回転プラン	6 W/100V					
ホッパー容量	播 種	28 ℥		11 ℥			
	覆 土	47 ℥		20 ℥			
灌 水 量		0.5-1.3 ℥ / 箱					
播種量の調節		スプロケットの掛け替えにより播種ローラーの回転数を11段階に可変する。					
播種量 (催芽)	条 播	80 g (120cc)	95 g (140cc)	105 g (160cc)	120 g (180cc)	135 g (200cc)	145 g (220cc)
	散 播	165 g (245cc)	185 g (275cc)	205 g (305cc)	225 g (335cc)	245 g (370cc)	
覆 土 量		0.5~1.3 ℥ / 箱 (3~9 mm厚)					
土 入 れ 量		2.9~4.0 ℥ / 箱 (18-24mm厚)		—			
土 均 し 方 式		回転ブラシ		—			
能 力		200箱/時 (50.60Hz)					

★本製品は、50Hz地区に組付てあります。60Hz地区で御使用の場合はスプロケット17丁を20丁に交換して下さい。

6. 組立要領

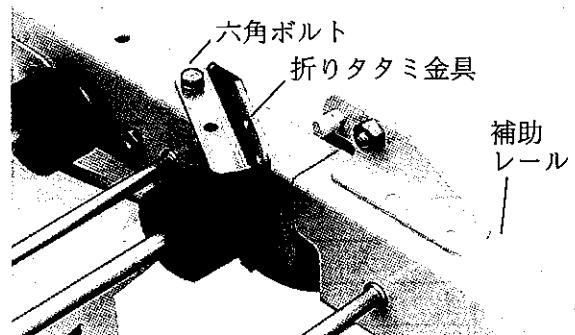
6・1 脚の組立

- (1) 各本機に折りたたまれている脚を立ててノブボルト (M 6 × 10) にて、しっかりと固定して下さい。
- (2) ノブボルト(イ)を固定し、ステーをノブボルト(ロ)にて固定して下さい。



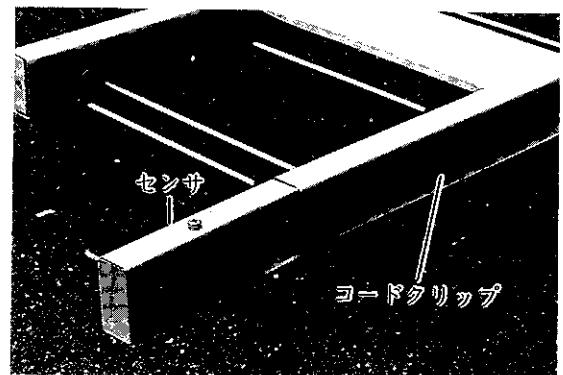
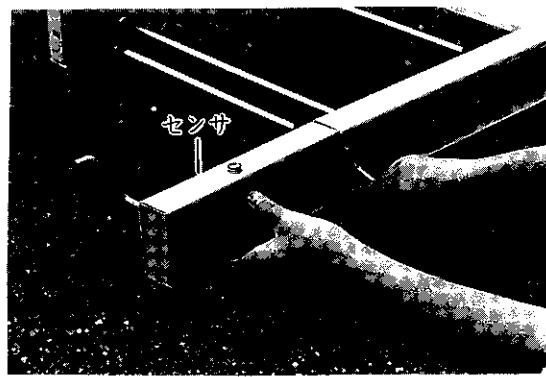
6・2 補助レールの組立

補助レールを連結し、折りたたみ金具を六角ボルトにてしっかりと固定して下さい。



6・3 センサの組立

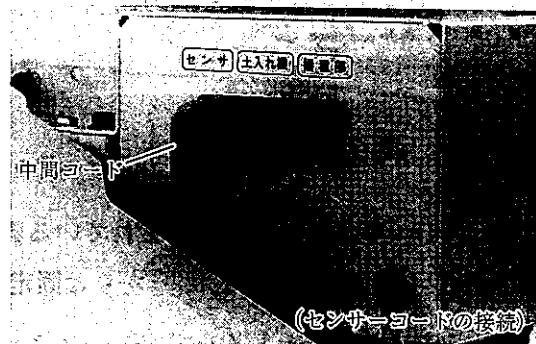
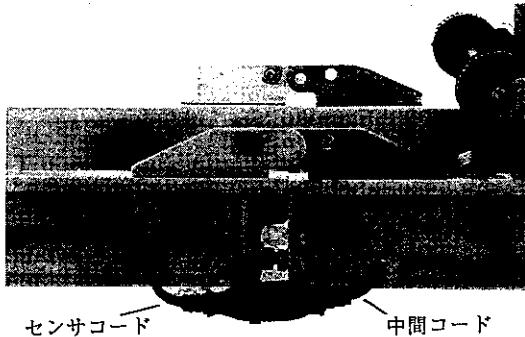
センサを補助レールの先端に六角ボルトにて組立て下さい。又、センサコードをコードクリップで固定して下さい。



6・4 センサコードの接続

補助レールの先端にあるセンサから出ているコードプラグを、駆動部コンセントより出している、中間コードと接続して下さい。

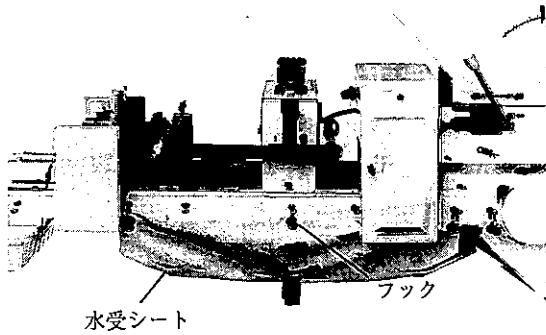
又、中間コードのプラグが駆動部コンセントの **センサ** の位置に差込んであるか確認して下さい。



6・5 水受けの組立

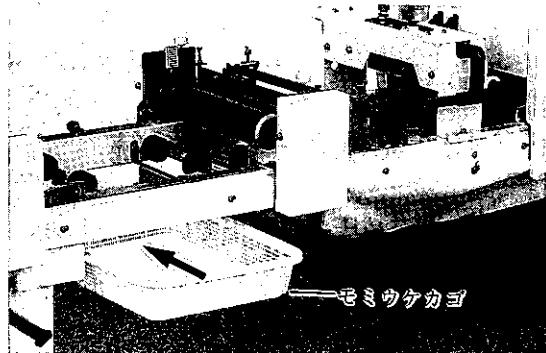
水受けに付いている穴をフックに
ひっかけて下さい。

又、排水ホースを取り着けて下さい。



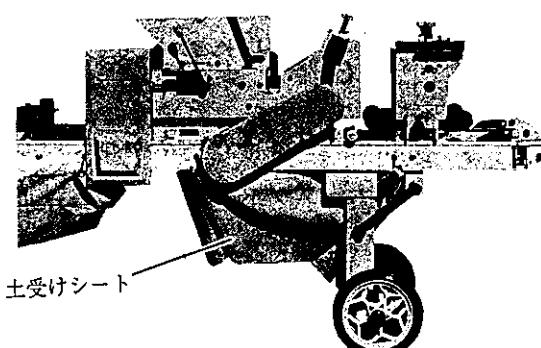
6・6 モミウケカゴの組立

播種ホッパーの下側にモミウケカゴ
をサイドから差し込んで下さい。



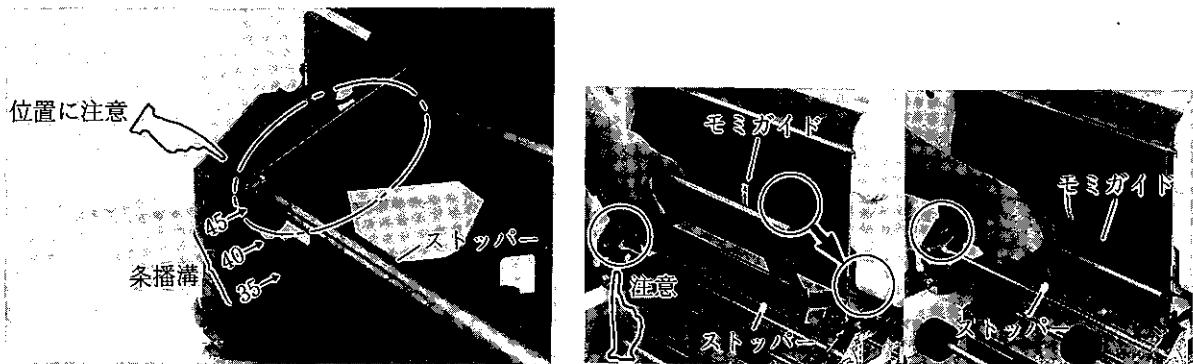
6・7 土受シートの組立

土受シートに付いている穴をフック
に引掛けて下さい。



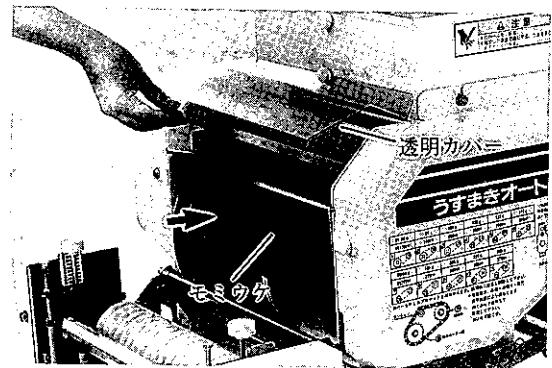
6・8 モミガイドの組立

- (1) 「7・6 播種ホッパーの高さ調節」を参照し、播種ホッパーを写真の様に一番高い位置にセットして下さい。(条播溝の45の所に、ストップバーをセットします。)
 - (2) モミガイドを、シャフトとストップバーの間から挿入し、サイドフレームの溝部にセットして下さい。
- (注意) モミガイドの着脱は、播種ホッパーの高さを必ずこの位置にセットしてから行って下さい。



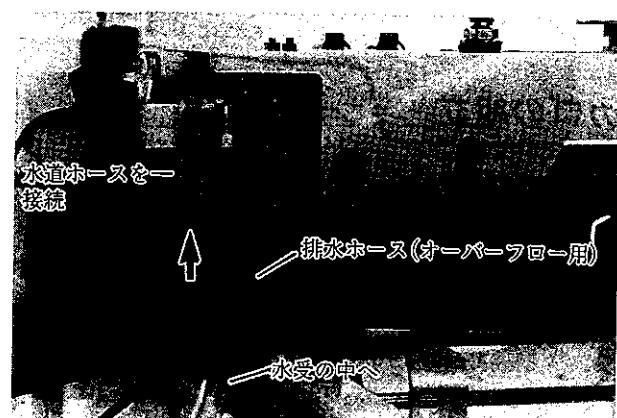
6・9 モミウケ

モミウケを写真の様に取付けて下さい。



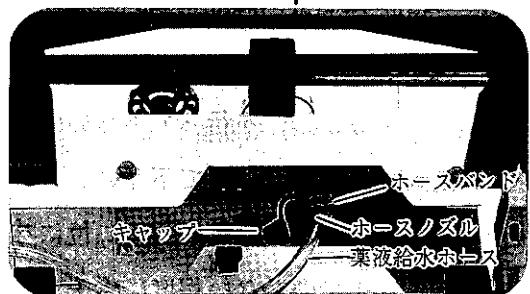
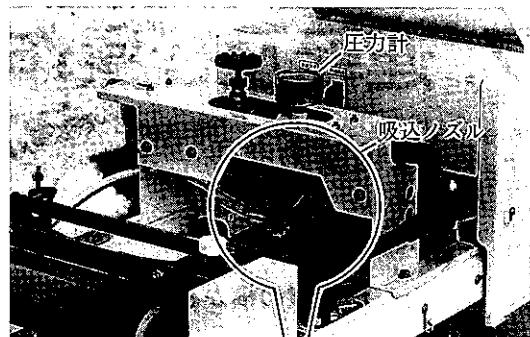
6・10 給水ホースの接続

- (1) 減圧弁から出ている左側のホースノズルに水道からのビニールホースを接続して下さい。
- (2) オーバーフローした水は、右側のホースノズルより出てきますのでビニールホースを接続し水受けの中へ入れて下さい。



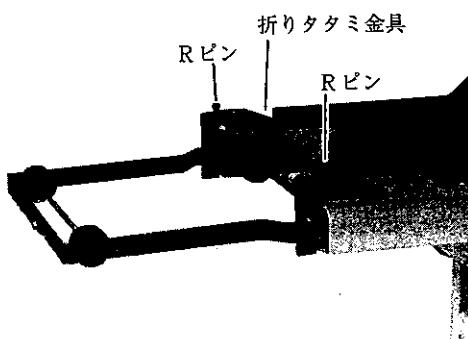
6・11 薬液灌水を行う時

- (1) ホースノズルにかぶっているキャップを外して下さい。
 - (2) ホースノズルに透明ビニールホース(Φ9)を取り付けて下さい。
- (注意)薬液灌水を行わない時は、必ずキャップをして下さい。



6・12 補助ローラの組立

補助ローラのピンを折りタタミ金具の穴に左右交互に差し込んで、写真の様にRピンをセットして下さい。(苗箱を入れる側)



7. 運転及び操作

7・1 運転前の準備

(1) 条数の確認

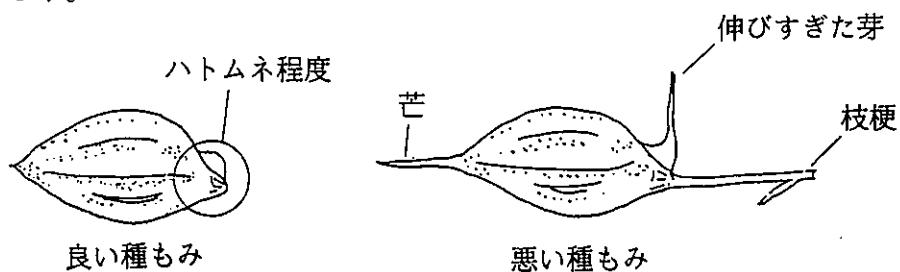
田植機の横かきとり回数と縦条数が合わないとせっかく条播しても、欠株になりますので、必ず確認してから御使用下さい。

(2) 種もみの処理

① 種もみは、ゴミや、芒、枝梗を取り除き、育苗方法に従って、塩水選、消毒、浸種、芽出し、を行って下さい。尚、芒、枝梗は、播種ムラの原因になりますので特に注意して取り除いて下さい。

② 種もみは「はとむね」位に芽出しをし、芽が伸びすぎないよう注意して下さい。又、手につかない程度に陰干しをして、種もみの水分を充分切ってから播種して下さい。

種もみの水切りが完全でなかったり、芽が伸びすぎていますと「播種ムラ」の原因になります。



(3) 土の処理

① 覆土に使用する土は、よく乾燥し、4mm目のフルイを通した物を使用して下さい。

② 床土に使用する土は、5mm目のフルイを通した物を使用して下さい。

又、床土の水分は、溝付ローラーで土に山と谷を形成するので、適当な水分を必要とします。極度に乾燥した土は、山が崩れ、湿り過ぎた土は、溝付、鎮圧ローラーに付着してしまいます。理想的な床土は、片手でかるく握って開いた時に、かたまり、指でさわるとすぐ崩れる程度の物です。人工培土の内、粒状培土は溝が付きにくい場合があります。

③ 床土入れは、必ず平らな所に育苗箱を置いて土を入れて下さい。

箱の下に異物があり、また、箱の底面が変形しているとその分だけ土入れが変化しますので均一な溝が出来ません。

又、土入れ作業後播種迄の時間がある場合は、床土の表面が乾燥しますので御注意下さい。

④ 床土のかきとりは、土ならし板の7ミリでかきとるのが標準です。

(注意) 10ミリでかきとると溝の分だけ種もみの播種位置が深くなり正常な条播になりません。

(4) 本機の設置

平らな場所を選び全体が水平になるよう脚の高さ調節ボルトにて調節して下さい。

(注意)設置が悪いと箱の片寄り、播種ムラ、灌水ムラの原因になる場合もありますので特に注意して下さい。

(5) 育苗箱

- ① 育苗箱は、できるだけ同じ種類の物で「ソリ」「ネジレ」のない箱を使用して下さい。
- ② 育苗箱の種類が同じ物でない場合は、箱の高さを基準に選り分けて下さい。
(箱の高さが異なると本機の再調整が必要です。)
- ③ 条播種専用育苗箱を御使用になると、箱のきわから条播種が出来るので条の効果をよりいっそう高めます。

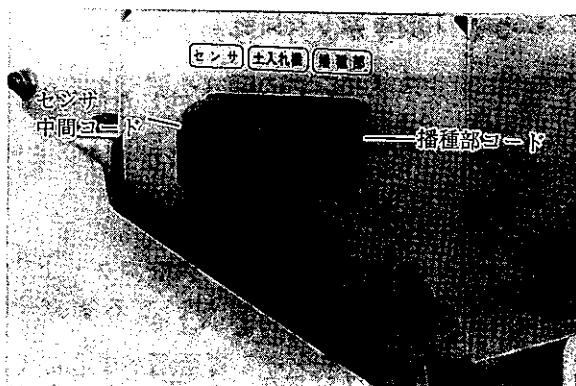
7・2 電 源

(1) 播種ホッパーから出ているコードプ

ラグ及びセンサ中間コードが駆動部コ
ンセントに差し込んであるか確認して
下さい。

(2) 駆動部から出ているコードプラグを 単相100Vの電源に差し込んで下さい。

(3) 「メインスイッチ」を「ON」にし, 各部のスイッチ及びクラッチを入れ, 動きを確認して下さい。



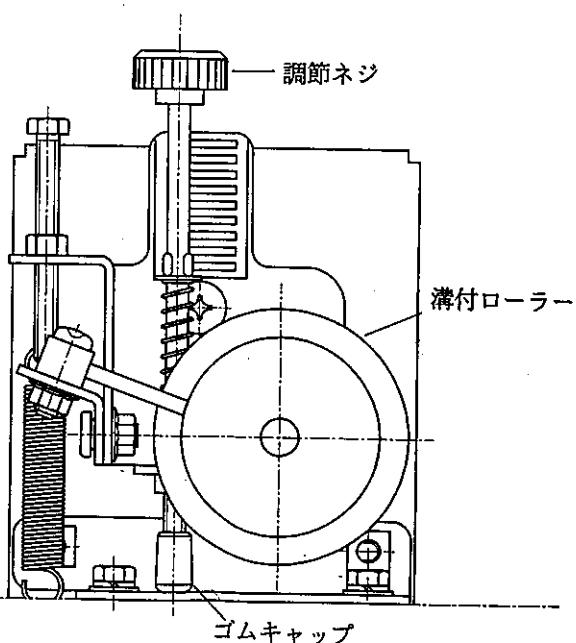
7・3 溝付ローラーの調節

(1) 溝付ローラーの所で育苗箱がストッ プする場合

専用育苗箱以外のものを使って、箱
が溝付ローラーの所でストップする時
は、育苗箱の縁に溝付ローラーを乗せ
て、ゴムキャップと、レールのすきま
が12ミリになるようにセットしてから
再度調節して下さい。

(工場出荷時、箱の高さ33ミリのもの
に合わせてあります。)

(2) 溝が不完全のとき



溝付ローラーを下げる下さい。(高さ調節ボルト1回転は、ローラーが1ミリ下降します) 溝付け中にゴムキャップとレールの間にすきまが出来る場合は、調節ボルトにより、スプリングを張って加圧して下さい。

(3) 床土が後方へ移動する場合

溝は完全に出来るが、床土が移動して後方にたまる時は、スプリングの張りを弱くするか、溝付ローラーを高くして下さい。

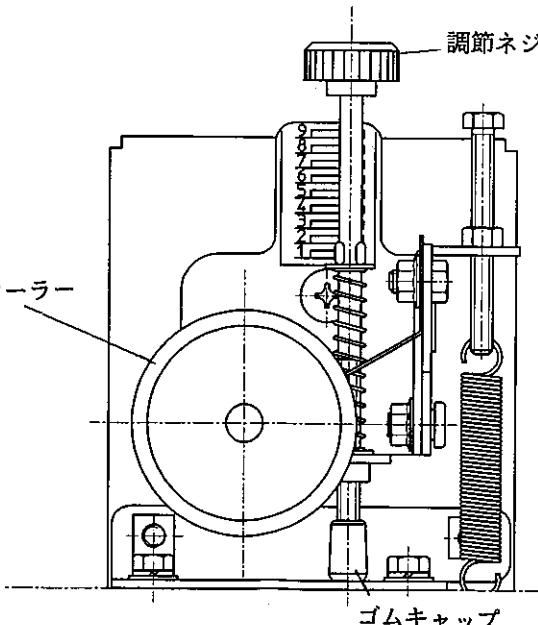
7・4 鎮圧ローラーの調節

(1) 鎮圧ローラーは、条播後、種もみの移動をなくすため、軽く押える程度にするものです。

一般に鎮圧ローラーの自重だけで充分です。

(2) 床土が後方へ移動する場合

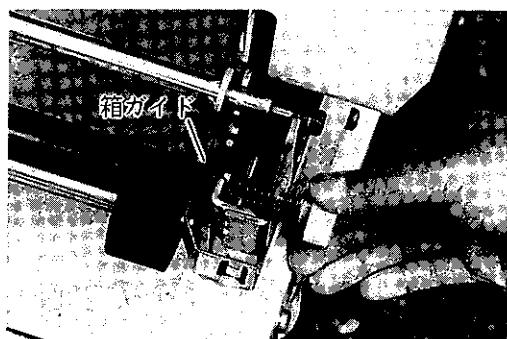
スプリングの張りを弱くするか、鎮圧ローラーを高くして下さい。



7・5 箱ガイドの調節

播種ホッパーに付いてる箱ガイドは、調節ねじにて育苗箱が中心にくる様調節して下さい。

(注意) 育苗箱が引っ掛からない様、余裕(3~5ミリ)をもって調節して下さい。

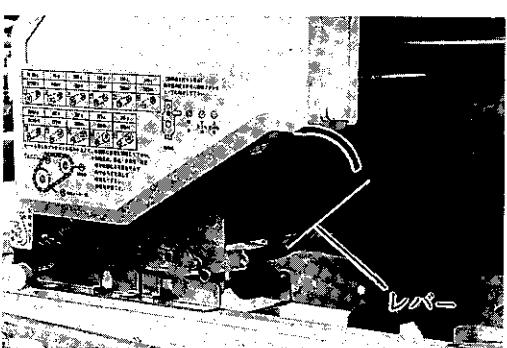


7・6 播種ホッパーの高さ調節

育苗箱の高さに応じてホッパーの高さを、35, 40, 45ミリの3段階に変えられる様になっています。

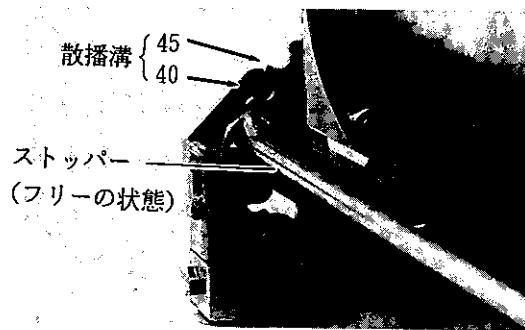
[散播]

- ① レバーを矢印の方向に動かし、播種ホッパーが上下に動く事を確認して下さい。



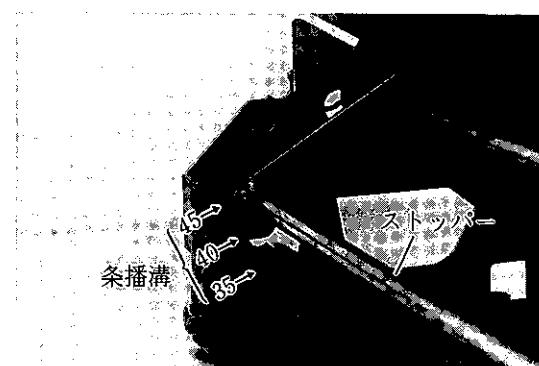
② スッパーがフリーの状態で35ミリの位置になっております。

さらに高い育苗箱を御使用になる場合は、散播溝の40, 45にスッパーをセットして下さい。



[条 播]

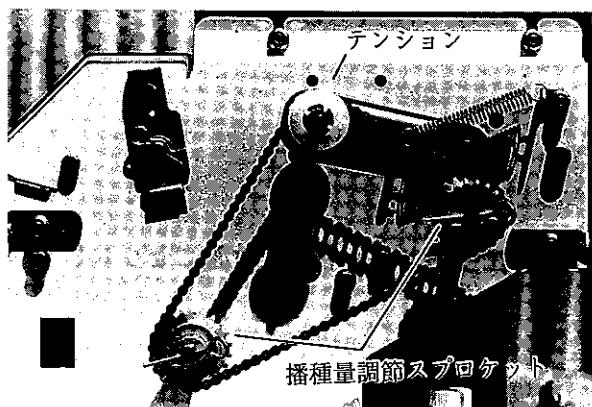
- ① レバーを一杯に上げるとスッパーが、自然に条播溝に入ってきます。
- ② 箱の高さに合せてスッパーをセットして下さい。



7・7 播種量の調節

(1) 播種量調整は、スプロケットの組合せにより行ないます。

ダブルスプロケット19T-21T, 27T-33T シングルスプロケットにて、11段の調整が出来ます。



(2) スプロケットの組合せと播種量の関係を下表に示しますが、種もみの品種、催芽、水切り等の状態により異なりますので、実測してから御使用下さい。

尚、出荷時は、135g (200cc) にセットしております。

約80g	95g	105g	120g	135g	145g
約120cc	140cc	160cc	180cc	200cc	220cc
1 (33) - ⑯ (19)	2 (33) - ⑯ (22)	3 (27) - ⑯ (21)	4 (22) - ⑯ (19)	5 (22) - ⑯ (21)	6 (21) - ⑯ (22)

約165g	185g	205g	225g	245g
約245cc	275cc	305cc	335cc	370cc
7 (19) - ⑯ (22)	8 (21) - ⑯ (27)	9 (19) - ⑯ (27)	10 (21) - ⑯ (33)	11 (19) - ⑯ (33)

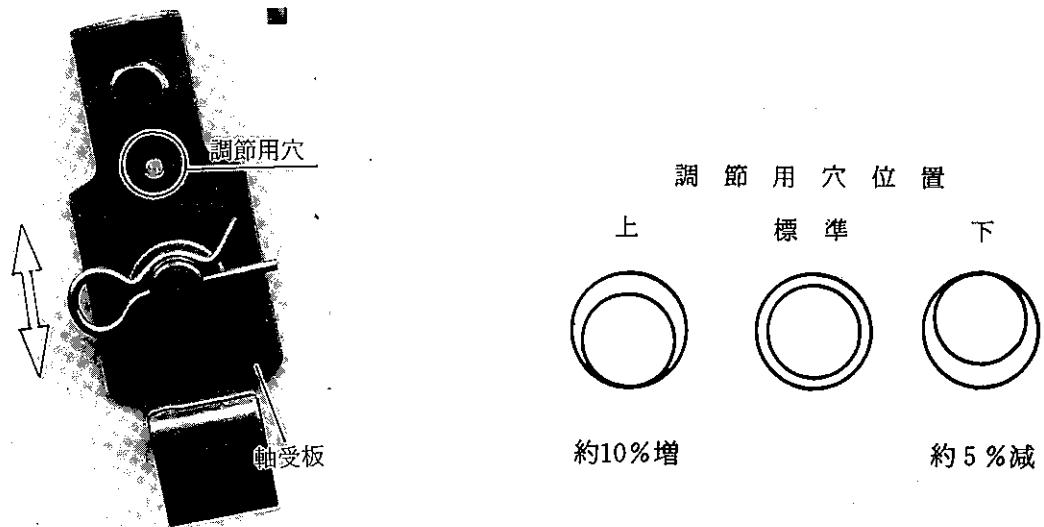
⚠ 注意

- 取り外した回転部のカバー類は、必ず取り付けてください。
衣服が巻込まれたりして傷害事故をひきおこすことがあります。

(3) 微調整を行なう時は、回転ブラシを上下に動かします。

軸受板の調節用穴を参考にして調節して下さい。

尚、出荷時は、標準でセットされています。



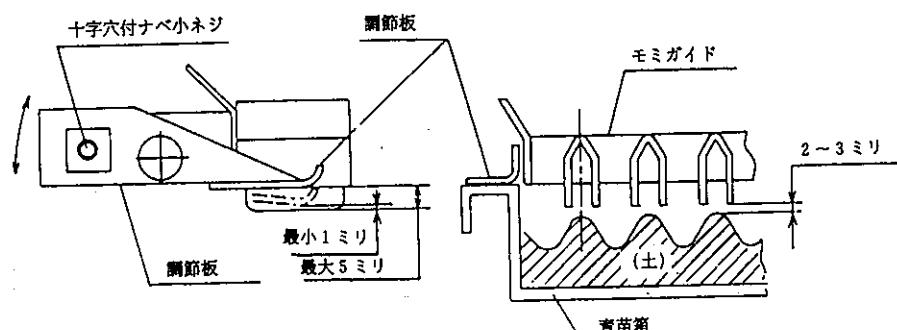
★軸受板は、左右同じ位置にセットして下さい。

7・8 Vゴムの調節

育苗箱の上面にかかる程度に高さを調節して下さい。

7・9 モミガイドの調節

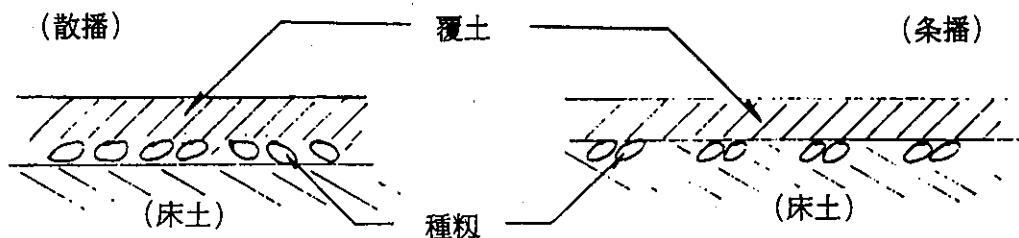
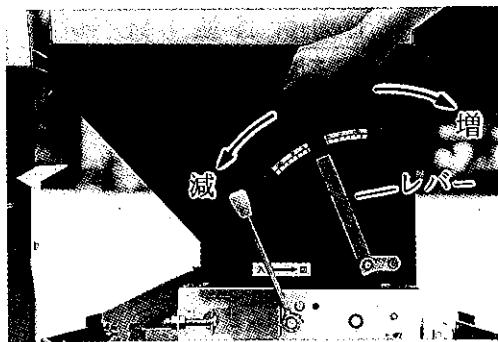
モミガイドは、箱上面より5ミリ下がった位置にセットしてあります。床土入れ量が多い時、又、育苗箱にソリが出て床土の山の部分をモミガイドで削ってしまう時は、モミガイド下面と、山のすきまを2~3ミリになるよう調節板のネジを緩め再度調節して下さい。



7・10 覆土量の調節

(1) 覆土量の調節はホッパーの側面にあるレバーで調節して下さい。

(2) 粘質な土をさけ、乾いた土を使って種もみがかくれる程度に覆土します。



7・11 灌水量の調節

床土が必要とする灌水量は、床土の種類や乾燥状態により異なります。灌水量の調節が充分になされず、湿害や灌水不足を起こし出芽、生育に支障をきたすことのないよう特に次のことを注意して下さい。

(1) 灌水量の決め方

① 床土の水分状態

乾燥している土は多く灌水し、湿った土は少なく灌水します。必要以上に灌水すると湿害を生じたり、逆に灌水不足だと種もみの根上がり現象がおこります。

② 箱の種類

木箱の場合は、箱自体が水分を吸収するので灌水量をやや多めにします。又、プラスチック箱は、水分が逃げにくいので少なめに灌水します。

(2) 真水灌水する場合

① 水道のコックを全開にして、下表を参照しながら、使用する水圧に灌水装置側のバルブで調節して下さい。

圧力計目盛り kg/cm ²	0.15	0.2	0.3	0.4	0.6	0.8	1.0
真水灌水量cc/箱	(455)	520	610	710	865	1005	1115

② 育苗箱を1箱通し、床土入れ、均平、灌水して3分位たって水分がやや落ち着いてかり水の浸透状態を確認して下さい。

7・12 薬液灌水の仕方

この灌水装置は、「リゾーブス菌」による苗立枯病の発生防止に使用するもので灌水と同時に薬剤散布ができるようになっています。

(1) 灌水量及び薬剤吸い込み量

圧力計目盛り kg/cm ²	0.2	0.3	★0.4	0.6	0.8	1.0
薬剤灌水量cc/箱	580	705	★815	1,000	1,165	1,300
薬剤吸い込み量cc/箱	76	103	★126	171	207	238
薬剤散布倍率	500倍	132	97	79	58	48
	800倍	82	60	★49	36	30
	1000倍	66	48	39	29	24
水 10ℓ 当りの薬剤量 (g) を示す						

(2) 消毒液の作り方 (ダコニール, ダコレート)

☆薬液消毒の防除基準は、一般に500~1000倍液を1箱当たり500cc散布となっています。

(各地域の育苗指針、農業改良普及員の指導、薬剤の説明書などに従って下さい。)

(例) 1箱当たりの適正灌水量が815ccで、800倍のダコニール消毒液を散布する場合 (★印)

① バルブで水圧を0.4kg/cm²にセットします。

② 1箱当たりの薬剤吸い込み量は約126ccです。800倍で散布する場合、表を参照して10ℓ

当り薬剤49gの割合で調合してください。

③ 消毒液の必要量は、苗箱枚数×薬剤吸込量です。100箱育苗する場合

$$100\text{箱} \times 126\text{cc} = 12,600\text{cc} = 12.6\ell$$

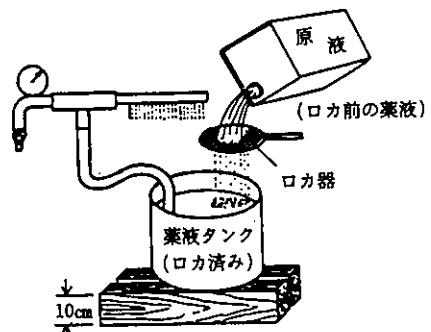
12.6ℓ 消毒液が必要になります。

$$\text{必要薬剤量} = \frac{\text{必要消毒液量} (\ell)}{10\ell} \times 10\ell \text{ 当りの薬剤量 (g)}$$

$$\frac{12.6\ell}{10\ell} \times 49\text{g} = 61.7\text{g} \text{ の薬剤が必要になります。}$$

(注意)

- ① ダコニール、ダコレートとタチガレンの同時使用、近接処理は薬害を生じるおそれがありますのでさけて下さい。
- ② 薬液タンクは地上より10cm位上げて下さい。
- ③ 薬剤が沈んでしまわないようときどき攪拌して下さい。
- ④ 吸い込み用ビニールホースの先端に付いているフィルターが詰まると薬剤吸い込み量が減少します。ときどき確認し詰まつたら掃除して下さい。
- ⑤ 水和剤を使用する時は、原液をロカ器に通しますと、目詰まりが無く正確な散布が出来ます。



8. 土入れ作業 HS-225D・HS-225B

▲ 警告

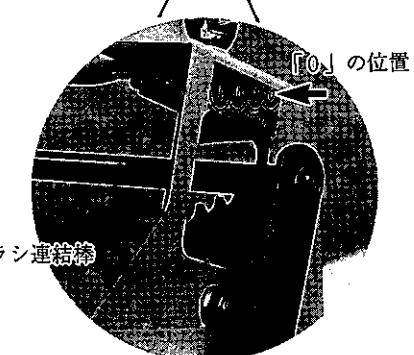
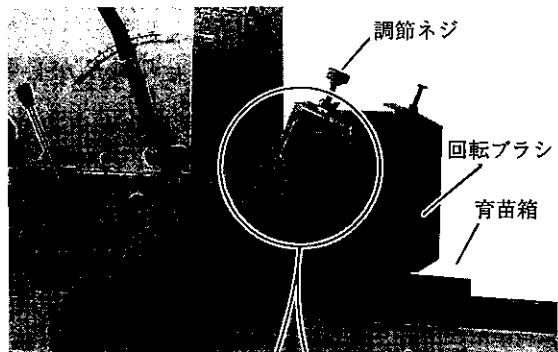
• 電源を「OFF」にし差し込みプラグを抜いて行って下さい。
回転部に巻き込まれるなど傷害事故をひきおこすおそれがあります。

HS-225D, HS-225Bは覆土ホッパーにて床土入れも出来る様になっております。床土量の調節は覆土の場合と同じ要領で行って下さい。

8.1 回転ブラシの調節

回転ブラシの調節は育苗箱の種類により箱の高さが異なりますので御使用する箱に合わせて下さい。

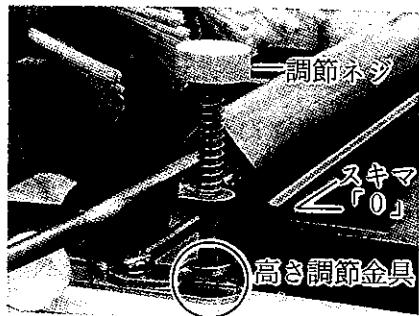
- (1) ブラシ連結棒がカキトリ調節板の「0」の位置にある事を確認して下さい。
- (2) 育苗箱の上面と回転ブラシのスキマを「0」になる様調節ねじで調節して下さい。(調節ねじ1回転で回転ブラシが「2ミリ」下がります。)
- (3) 写真の様に中央を握る感じでブラシ連結棒を移動して望みのカキトリ量に合わせて下さい。



8.2 スミ取り装置（前）の調節 (HS-225B)

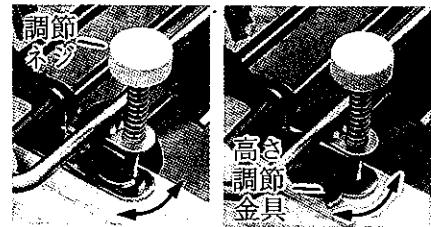
このスミ取り装置（前）は、育苗箱の前側の隅を取る装置です。箱の種類により高さが異りますので御使用する箱に合わせて下さい。

- (1) 高さ調節金具の一番高い所にスミ押シ金具の調節ねじが乗っている事を確認して下さい。
- (2) 育苗箱の上面とスミ押を金具の先端のスキマが「0」になる様、調節ねじで調節し

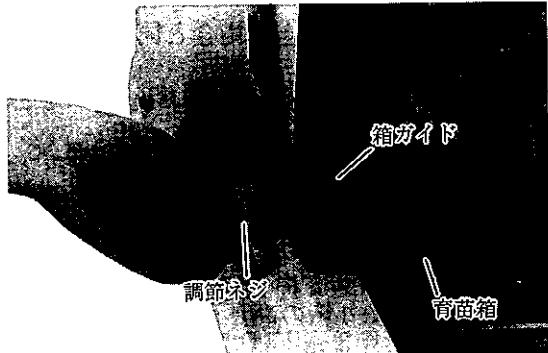


て下さい。

- (3) 高さ調節金具を回すと「7ミリ」、さらに回すと「10ミリ」カキトリにセットされます。



- (4) 箱ガイドを調節ねじで育苗箱に合わせ、スミ押シ金具が箱の中に入る様調節して下さい。



8・3 スミ取り装置の調節 (HS-225D)

このスミ取り装置は、育苗箱の前後の隅をとる装置です。箱の種類により高さが異なりますので御使用する箱に合わせ次の要領で調節して下さい。

(1) 箱押えローラーの調節

- (イ) 空箱を通し、押えローラーが苗箱を押さえるまで調節ねじを「左」へ回して緩めて下さい。

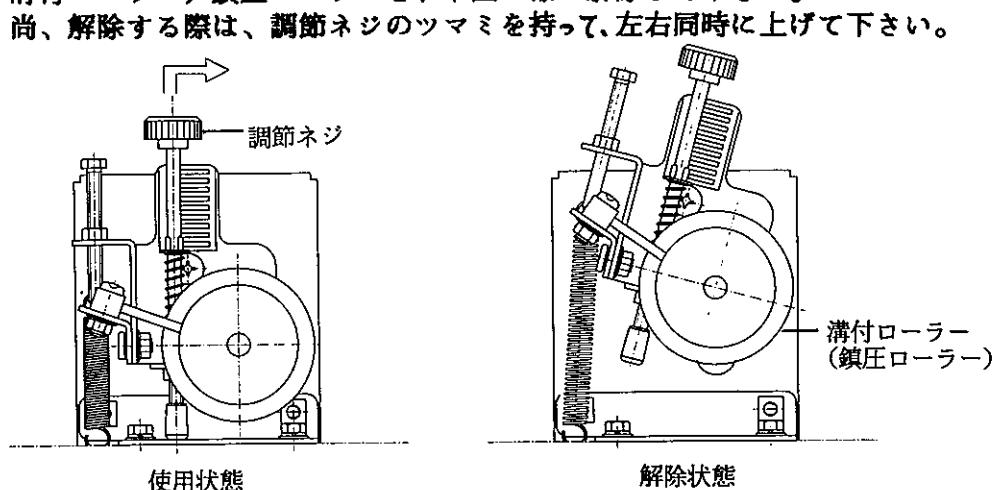
9. 散播作業の仕方

本機を散播として御使用になる場合は、次の要領で行って下さい。

(1) 播種ホッパーを条播溝「45」の所にセットしてからモミガイドを外して下さい。

(注) 他の位置の場合は外れませんので注意してください。

(2) 溝付ローラー、鎮圧ローラーを、下図の様に解除して下さい。



10. 手入れ及び保管上の注意

10・1 手 入 れ

播種作業が終わって長時間使用しない場合は、次の点に注意して下さい。

(1) 灌水装置

① 薬剤灌水を行った時は、必ず真水を吸いこませ内部を良く洗浄して下さい。

② 灌水ノズルは、ノズルブラシで掃除をし、水を勢いよく出してパイプ内をきれいにしてからゴム栓をして下さい。

③ 冬期凍結のおそれがないよう水を完全に抜いて下さい。

(2) 残量種粒

播種作業終了時は、ホッパー内種粒が全部無くなる迄ローラーを回し種子がロールガイド内に残らない様にして下さい（ロールガイドが破損する恐れがあります）。

水洗い

水洗いをする場合は、電源プラグをコンセントから外し、モーター及びスイッチへの放水はしないよう注意して下さい。

(4) 給油

洗浄後、よく乾かし、回転部（搬送コンベアーア軸受部、播種ホッパー軸受部、覆土ホッパー軸受部）、ローラーチェン（搬送コンベアーベルト、播種ホッパー部）などへ必ず給油して下さい。

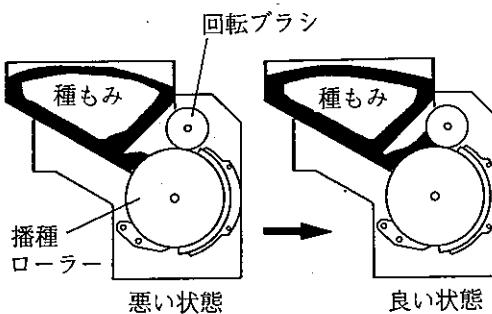
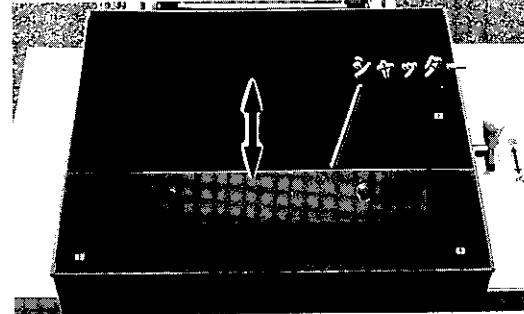
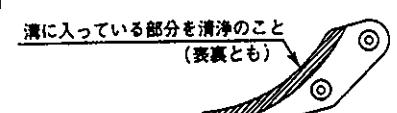
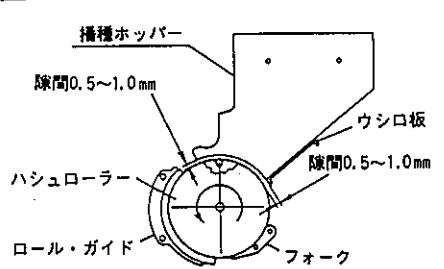
10・2 保管上の注意

- (1) 覆土部のクラッチは「切」の状態にして下さい。
- (2) Vベルトは、緩めた状態にしてから保管して下さい。ベルトの伸びやくせを防止することができます。
- (3) 本機の格納は、ゴムローラーを使用していますので直射日光を避けて下さい。

11. 故障の診断と処置

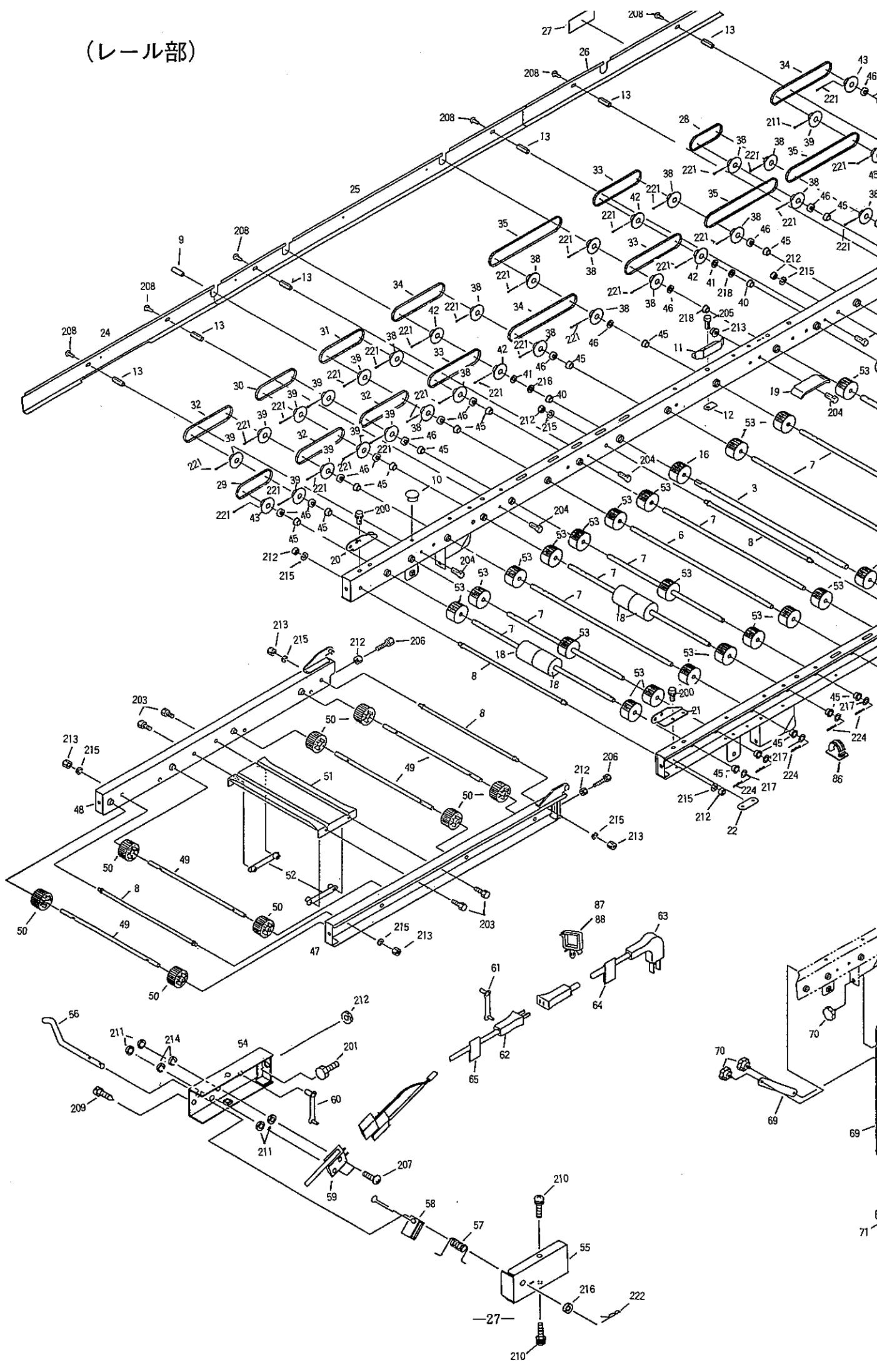
使用中、下表の様なトラブルが発生した場合は、表に基づいて適切な処置をして下さい。

現象	原因	処置
モーターが回らない	(1) 電源のコードの入れ忘れ。 (2) メインスイッチが「ON」になっていない。 (3) センサコードの接続が適切でない。	○家庭用 AC 100V に接続する。 ○スイッチを「ON」にする。 ○取説11頁 6・4 センサコードの接続参照。
水の出がない	(1) メインスイッチとカンスイスイッチが「ON」になっていない。 (2) 水道の蛇口が開かれていないか、水道ホースが曲がっている。 (3) 灌水ノズルが詰まっている。 (4) 減圧弁内のストレナーの目詰まり。 (5) ウォーターバルブの目詰まり。 ① フィルターの目詰まり。 ② ダイヤフラムの目詰まり。	○メインスイッチを「ON」にしてから、カンスイスイッチを「ON」にする。 ○水道の蛇口を開き水道ホースの曲がりを直す。 ○同梱のノズルブラシで清掃する。 ○キャップを取り外し、中にあるストレナーを清掃する。 A. 減圧弁を取り外し、フィルター（金網）を取り出し、清掃する。 B. 「A」の処置をして、メイン、カンスイ、スイッチを「ON」にしたとき、ウォーターバルブは「ピー」と音がするのに水が出ない場合は、ウォーターバルブを分解してダイヤフラムの3つの穴（矢印部）を清掃する。

現象	原因	処置
ノズルが入るに	○薬液吸込口のホースノズルにキャップがされていない。	○キャップをする、又割れている場合は新品と交換する。
薬液吸い込み上量ががら少ない	(1) 薬液タンクが低い位置にあって吸い上げることが出来ない。 (2) 吸い込み用ホースノズル内部のステンレスボールが薬剤で密着している。	○薬液タンクを地上より10cm位上げる。 ○ハリギネ、クギ等でホースノズルの下より突き上げて、ステンレスボールが軽く動くことを確認する。
播種ムラになる	○回転ブラシの手前に種もみがない。  ○種もみの処理が適切でない。 ○播種部回転ブラシの平行が出ていない。	○ホッパー内のシャッターを開く。  ○14頁7・1運転前の準備(2)種もみの処理を参照。 ○17頁7・7播種量の調節を参照。
ハシュローラーの動きが悪い動かない	(1) ロールガイドとハシュローラーの間に残量種糲が有ってロールガイドに食い込んでいる。 (2) フォークとハシュローラの溝の間に土又はゴミ等が付着して滑りが悪くなっている。 (3) ①播種ホッパー、ウシロ板とハシュローラが接触している。 ②播種ホッパーとハシュローラの隙間が約1.5mm以上あって種糲が挟み込まれる。	○ロールガイドを取り外し両方とも清浄する。 ○ロールガイドが破損している場合は交換する。 ○フォークを取り外し、フォーク部及びハシュローラの溝部の付着物を取除く。(組付の際、フォークがハシュローラに接触しないこと)  ○播種ホッパーを取付けているボルトを緩めて隙間が約0.5~1.0mmになるように再調整する。 

パーティリスト

(レール部)



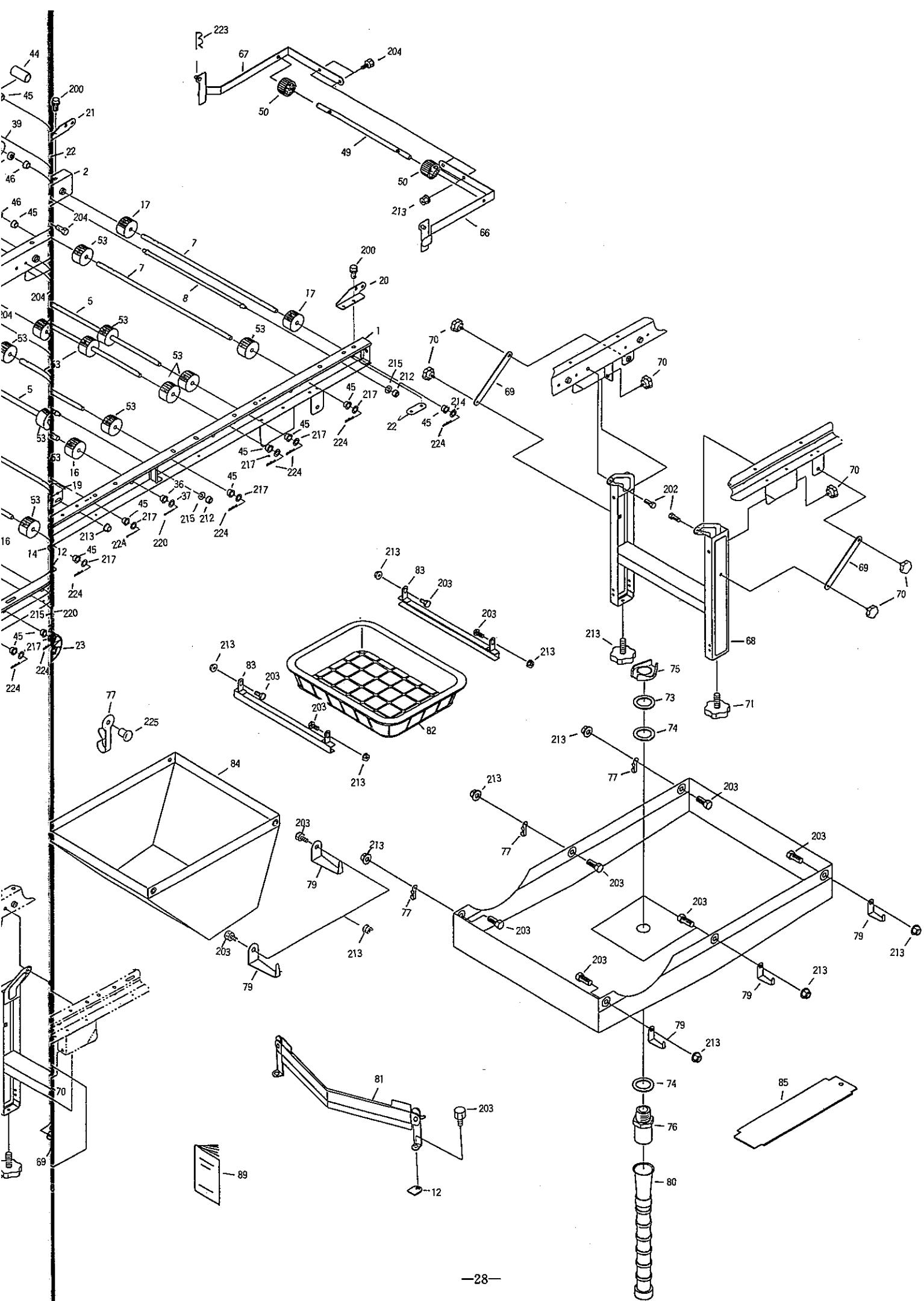
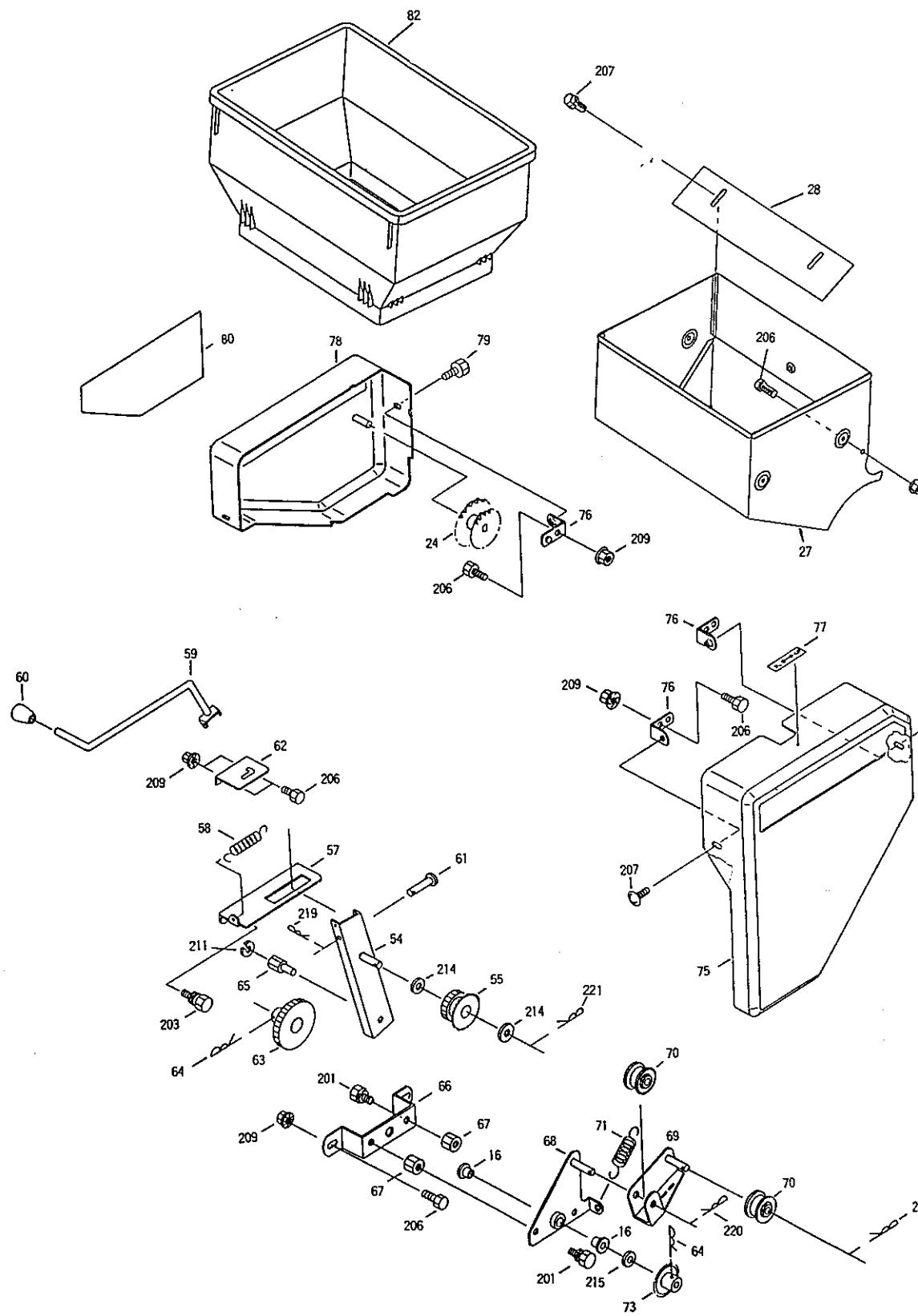


図 No	コ ー ド	名 称	図 面 数				備 考
			HS-225A	HS-225B	HS-225D		
200	20000-41730	バネ平金組込六角ボルト	8	8	8	M6×12	
201	20000-41750	バネ平壓金組込六角ボルト	1	1	1	M8×16	
202	20000-41780	バネ平壓金組込六角ボルト	4	4	4	M6×12	
203	01000-00610	六角ボルト	22	22	22	M6×10	
204	01000-00612	六角ボルト	3	3	3	M6×12	
205	01000-00812	六角ボルト	6	6	6	M8×12	
206	01000-00825	六角ボルト	2	2	2	M8×25	
207	01110-00320	十字穴付ナベ小ネジ	2	2	2	M3×20	
208	01110-00610	十字穴付ナベ小ネジ	6	6	6	M6×10	
209	01113-00308	十字穴付タッピングネジ	1	1	1	M3×8	
210	01113-00406	十字穴付タッピングネジ	2	2	2	M4×6	
211	01200-00303	六角ナット	4	4	4	M3	
212	01200-00807	六角ナット	17	17	17	M8	
213	01250-00606	座金ナット	14	14	14	M6	
214	01400-00307	バネサガネ	2	2	2	M3	
215	01400-00820	バネサガネ	12	12	12	M8	
216	01420-00608	ヒラサガネ	1	1	1	M6	
217	01420-01016	ヒラサガネ	15	15	15	M10	
218	01420-01223	ヒラサガネ	2	2	2	M12	
219	01500-02515	割ビン	1	1	1	φ2.5×15	
220	01500-03020	割ビン	2	2	2	φ3×20	
221	01500-03025	割ビン	33	33	33	φ3×25	
222	01501-00510	Rビン	1	1	1	φ5	
223	01501-00818	Rビン	2	2	2	φ8	
224	01501-00918	Rビン	15	15	15	φ9	
225	01620-13206	ブラインドリベット(丸)	4	4	4	φ3.2 ℓ=2	
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							

(播種ホッパー部)



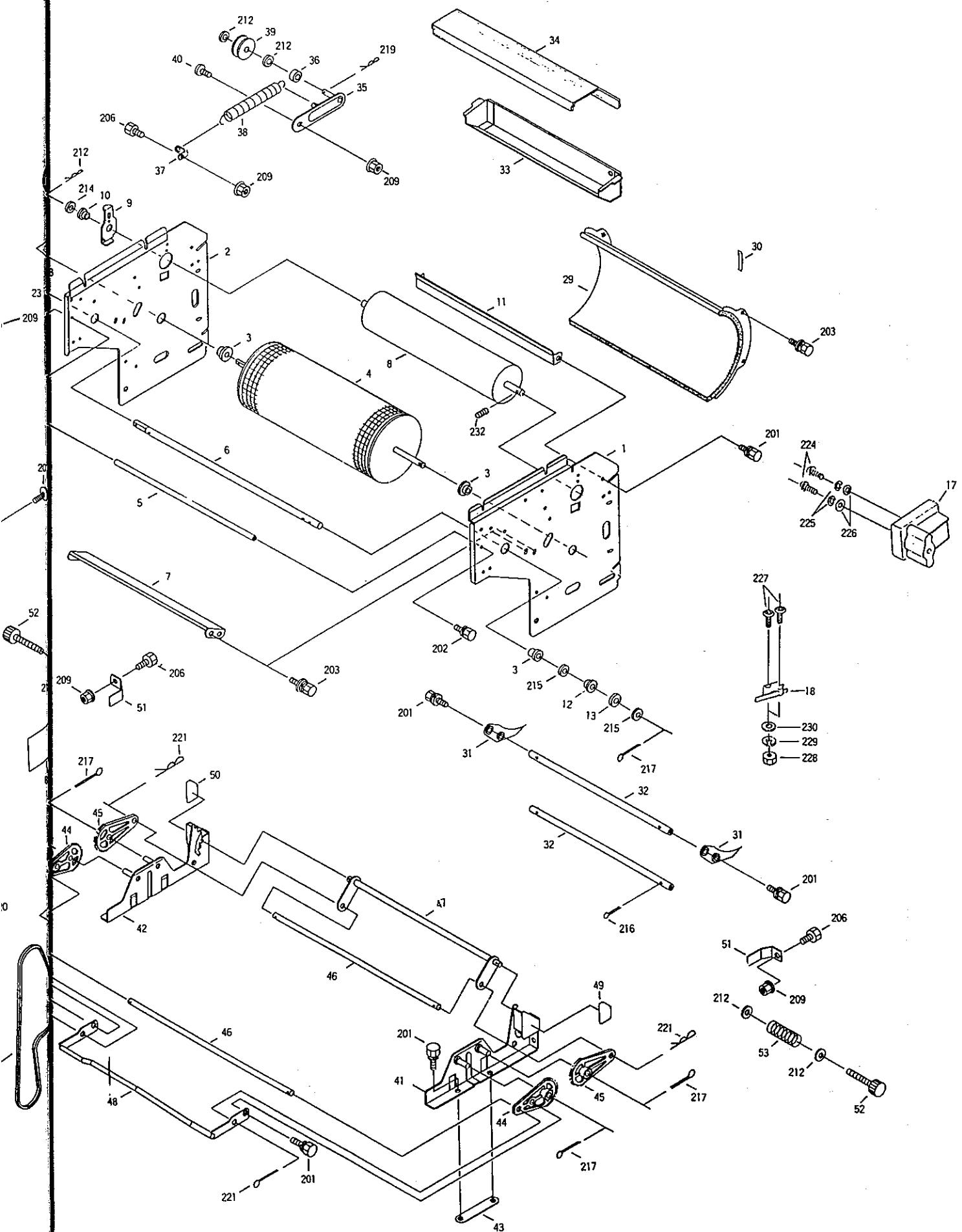
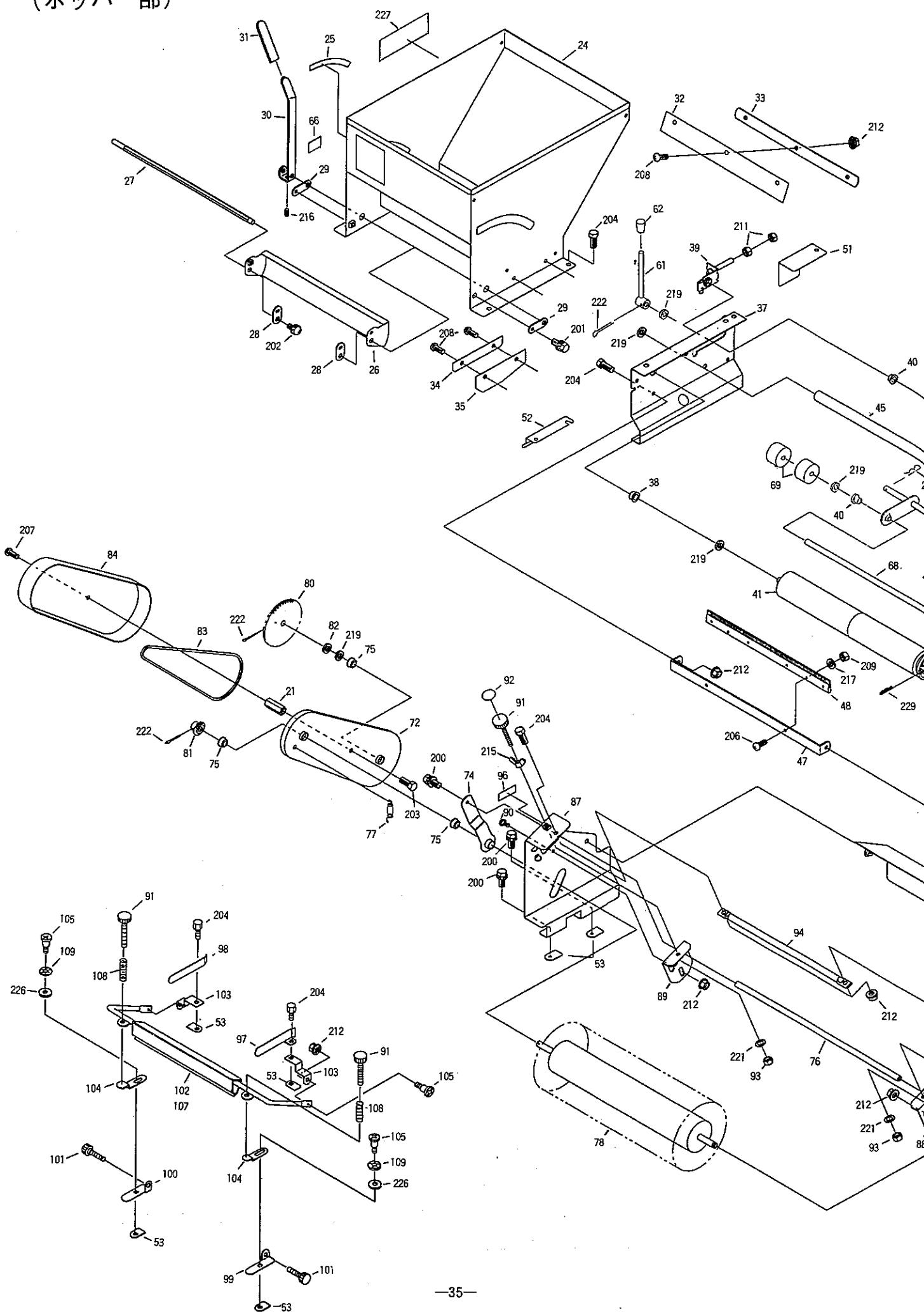


図 No	コ一ド	名 称	個 数			備 考
			HS-225A	HS-225B	HS-225D	
200						
201	20000-41730	バネ座金組込六角ボルト	17	17	17	M 6 ×12
202	20000-41760	バネ座金組込六角ボルト	2	2	2	M 8 ×14
203	20000-41780	バネ座金組込六角ボルト	11	11	11	M 6 ×12
204	20000-41750	バネ座金組込六角ボルト	1	1	1	M 8 ×16
205						
206	01000-00612	六角ボルト	13	13	13	M 6 ×12
207	01114-00612	十字穴付トラス小ネジ	4	4	4	M 6 ×12
208	01200-00807	六角ナット	1	1	1	M 8
209	01250-00606	座金ナット	15	15	15	M 6
210						
211	01400-00620	バネサガネ	1	1	1	M 8
212	01421-00610	ヒラサガネ	4	4	4	M 6
213	01420-00816	ヒラサガネ	1	1	1	M 8
214	01420-01016	ヒラサガネ	3	3	3	M10
215	01420-01223	ヒラサガネ	4	4	4	M12
216	01500-02220	割ビン	4	4	4	¢2.5×20
217	01500-03020	割ビン	6	6	6	¢3×20
218						
219	01501-00510	Rビン	2	2	2	¢5
220	01501-00818	Rビン	2	2	2	¢8
221	01501-00918	Rビン	6	6	6	¢9
222	01511-01223	Rビン(B)	2	2	2	¢12
223						
224	01110-00408	十字穴付ナベ小ネジ	4	4	4	M 4 × 8
225	01400-00410	バネサガネ	4	4	4	M 4
226	01421-00408	ヒラサガネ	4	4	4	M 4
227	01111-00315	十字穴付サラハネジ	2	2	2	M 3 ×15
228	01200-00303	六角ナット	2	2	2	M 3
229	01400-00305	バネサガネ	2	2	2	M 3
230	01421-00305	ヒラサガネ	2	2	2	M 3
231						
232	01360-00406	六角穴付止ネジ	1	1	1	M 4 × 6
233						
234						
235						
236						
237						
238						
239						
240						
241						
242						
243						
244						
245						
246						
247						
248						
249						

(ホッパー部)



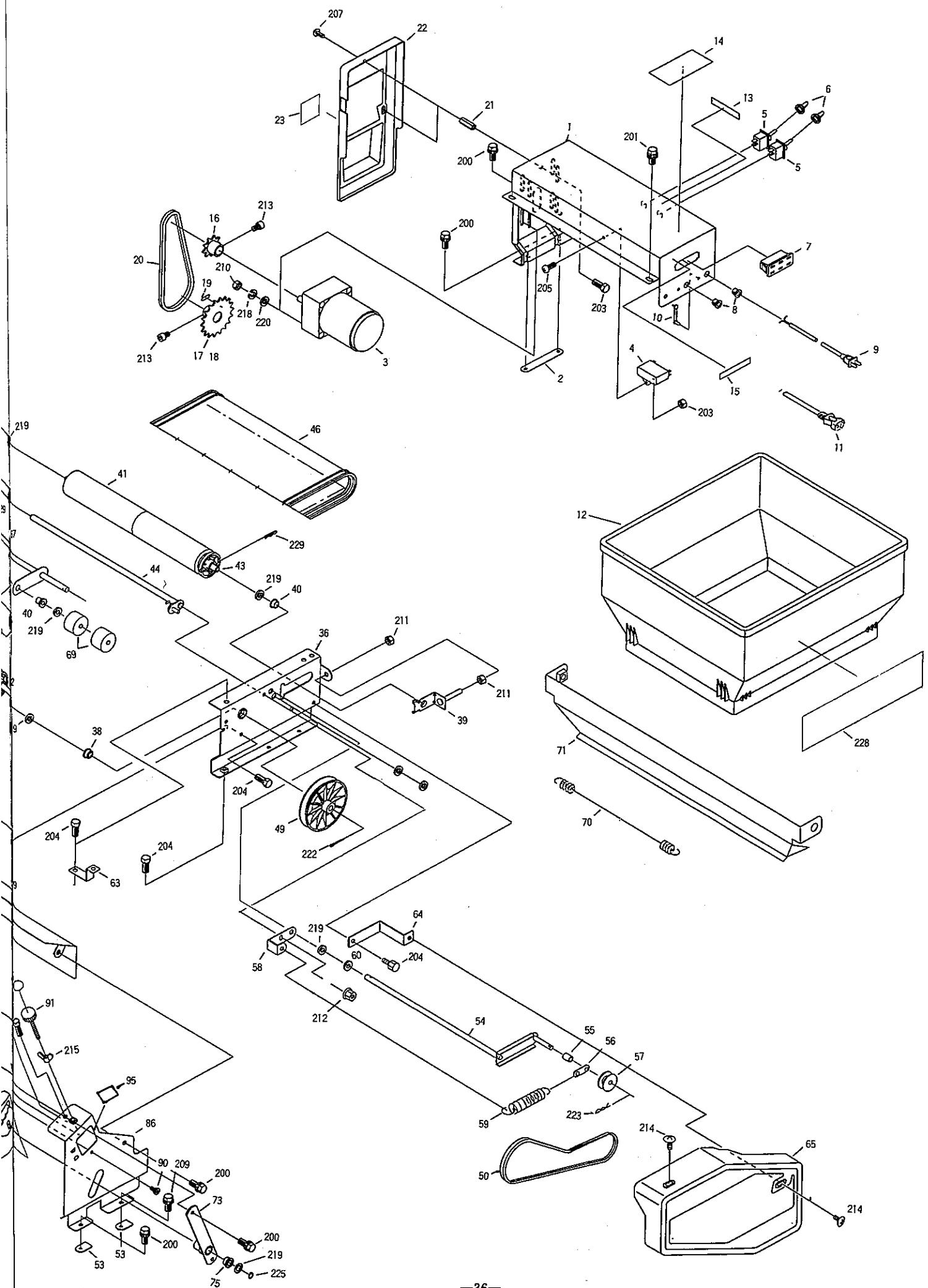
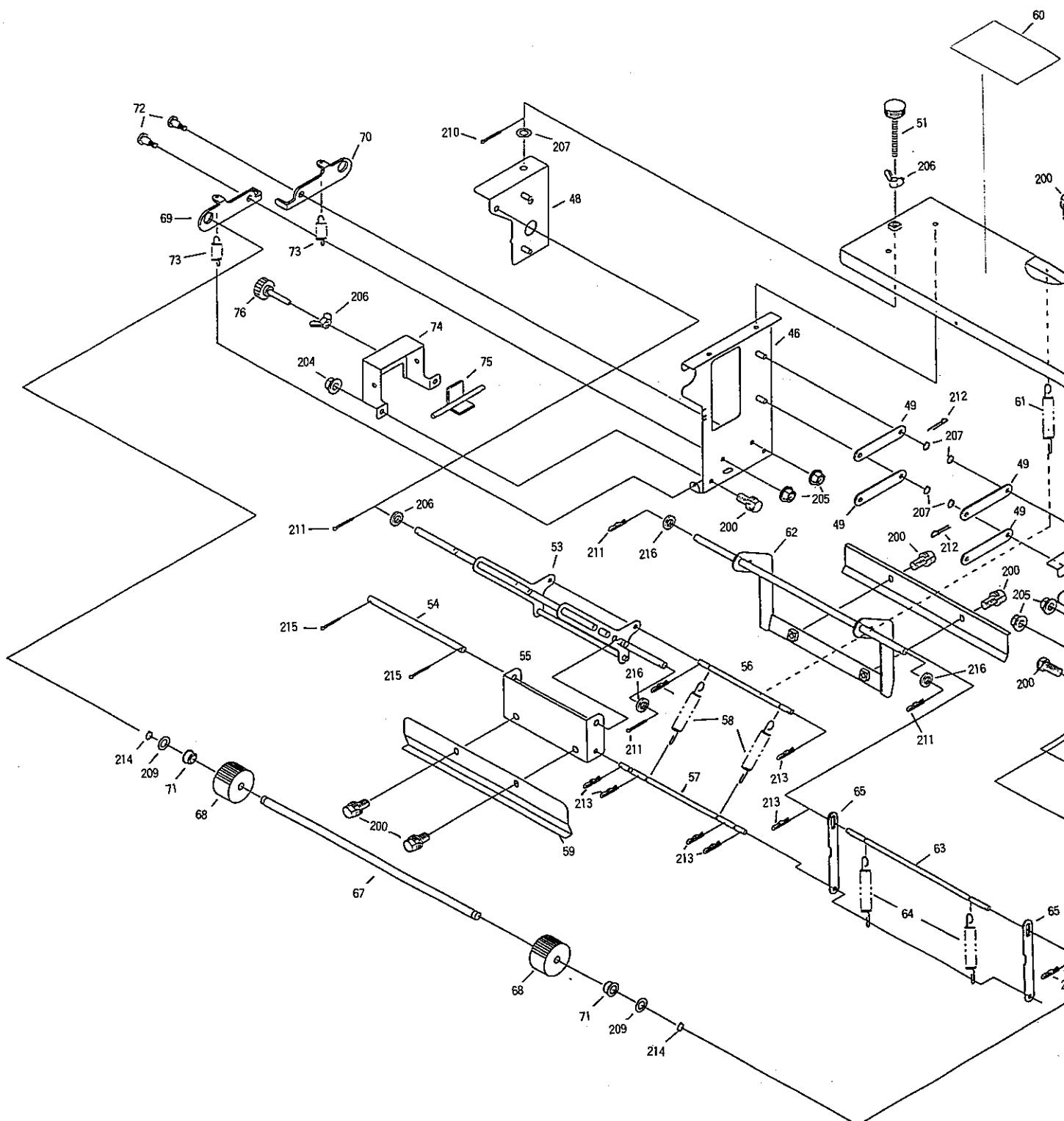


図 No	コ ー ド	名 称	個 数			備 考	備 考
			HS-225A	HS-225B	HS-225D		
101	20113-4-1170	調節ネジ	—	4	2	200	20000-41730 バネ組込六角ボルト
102	29224-2-1052	スミ押シ金具	—	1	—	201	20000-41780 バネ平厚金組込六角ボルト
103	29224-4-1310	アーマ支点	—	2	—	202	20000-42170 バネ平組込十字穴付ナベネジ
104	29224-4-1321	高サlico金具	—	2	—	203	01000-00610 六角ボルト
105	20041-4-1700	段付ネジ	—	4	—	204	01000-00612 十字穴付ナベネジ
106	29224-4-1371	取扱いラベル	—	1	—	205	01110-00412 " "
107	29224-4-1400	テープ	—	1	—	206	01110-00416 " "
108	00931-40012	压縮バネ	—	2	—	207	01110-00610 " "
109	20000-4-1710	波形座金	—	2	—	208	01110-00612 " "
						209	01200-00403 六角ナット
						210	01200-00504 " "
						211	01200-00807 " "
						212	01250-00606 壓金付ナット
						213	01010-10612 六角穴付ボルト
						214	01114-00612 十字穴付ナットスルネジ
						215	01290-90600 ナット
						216	01360-00612 六角穴付止メネジ
						217	01400-00410 バネザガネ
						218	01400-00513 " "
						219	01420-01016 ヒラザガネ
						220	01421-00508 " "
						221	01421-00510 " "
						222	01500-03025 刈ビン
						223	01501-00610 Rビン
						224	01501-00818 " "
						225	01210-01010 C形止メ輪
						226	01420-00812 ヒラザガネ(小形九)
						227	型式マーク
						228	ネームフレート
						229	20208-42211 Rビン
						230	231
						232	233
						234	235
						236	237
						238	239
						240	241
						242	243
						244	245
						246	247
						248	249

(スミトリ, 灌水部)



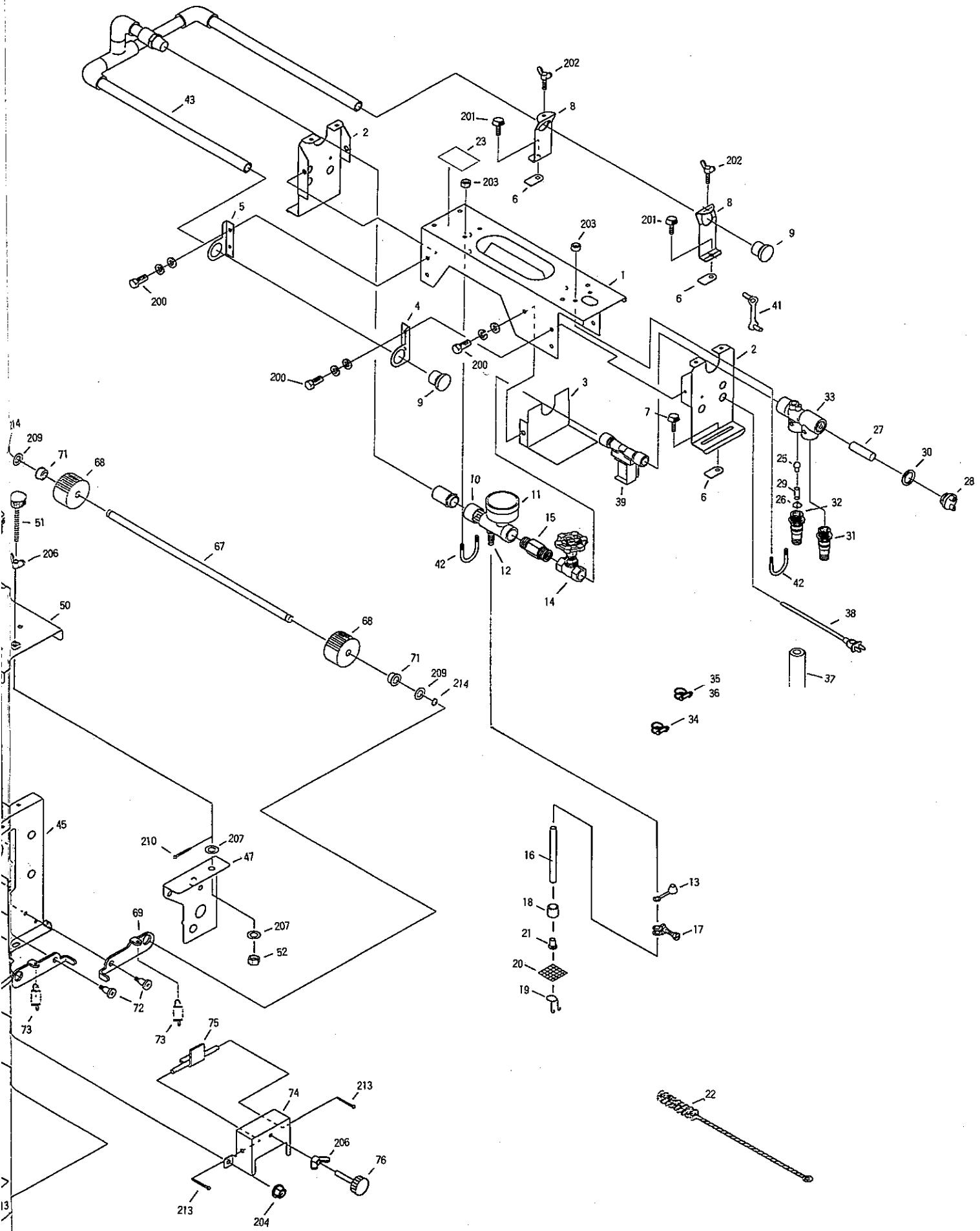
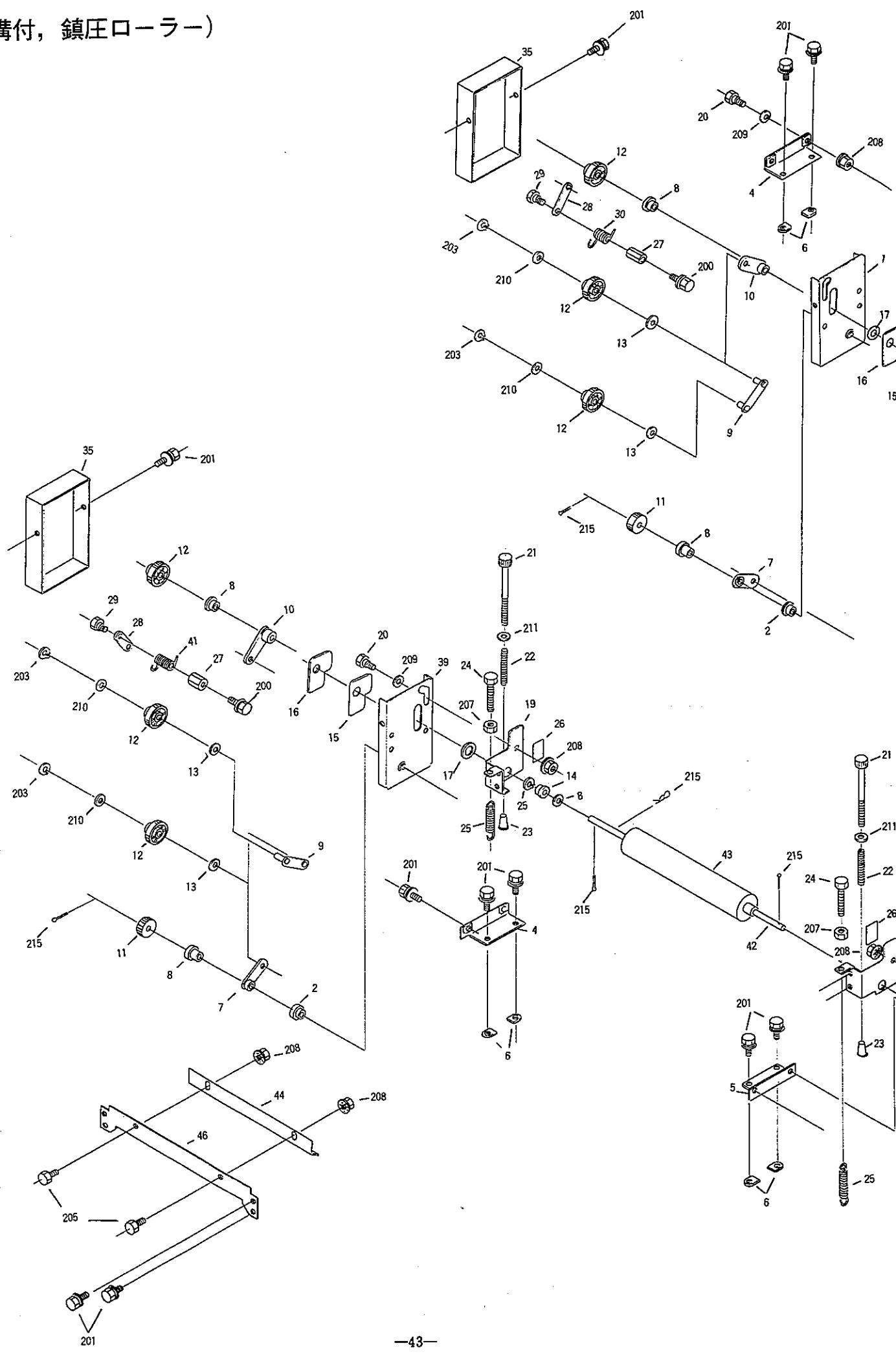


図 No	コ ド	名 称	固 定 数			備 考
			HS-225A	HS-225B	HS-225D	
200	20000-41780	バネ平座金組込六角ボルト	6	6	18	M6×12
201	01000-00610	六角ボルト	2	2	2	M6×10
202	01020-90620	チヨウボルト	2	2	2	M6×20
203	01200-00504	六角ナット	4	4	4	M5
204	01200-00605	六角ナット	—	—	4	M6
205	01250-00606	座金ナット	—	—	4	M6
206	01290-90600	チヨウナット	—	—	4	M6
207	01421-00610	ヒラサガネ	—	—	18	M6
208	01421-00816	ヒラサガネ	—	—	4	M8
209	01420-01010	ヒラサガネ	—	—	4	M10
210	01500-02015	軋ビン	—	—	2	Φ2×15
211	01500-02515	軋ビン	—	—	4	Φ2.5×15
212	01500-03220	軋ビン	—	—	4	Φ3×20
213	01501-00510	Rビン	—	—	12	Φ5用
214	02100-01010	C型止メ輪	—	—	4	軸10用
215	01501-00818	Rビン	—	—	2	Φ8用
216	01400-00812	ヒラサガネ	—	—	8	M8
217						
218						
219						
220						
221						
222						
223						
224						
225						
226						
227						
228						
229						
230						
231						
232						
233						
234						
235						
236						
237						
238						
239						
240						
241						
242						
243						
244						
245						
246						
247						
248						
249						

(溝付、鎮圧ローラー)



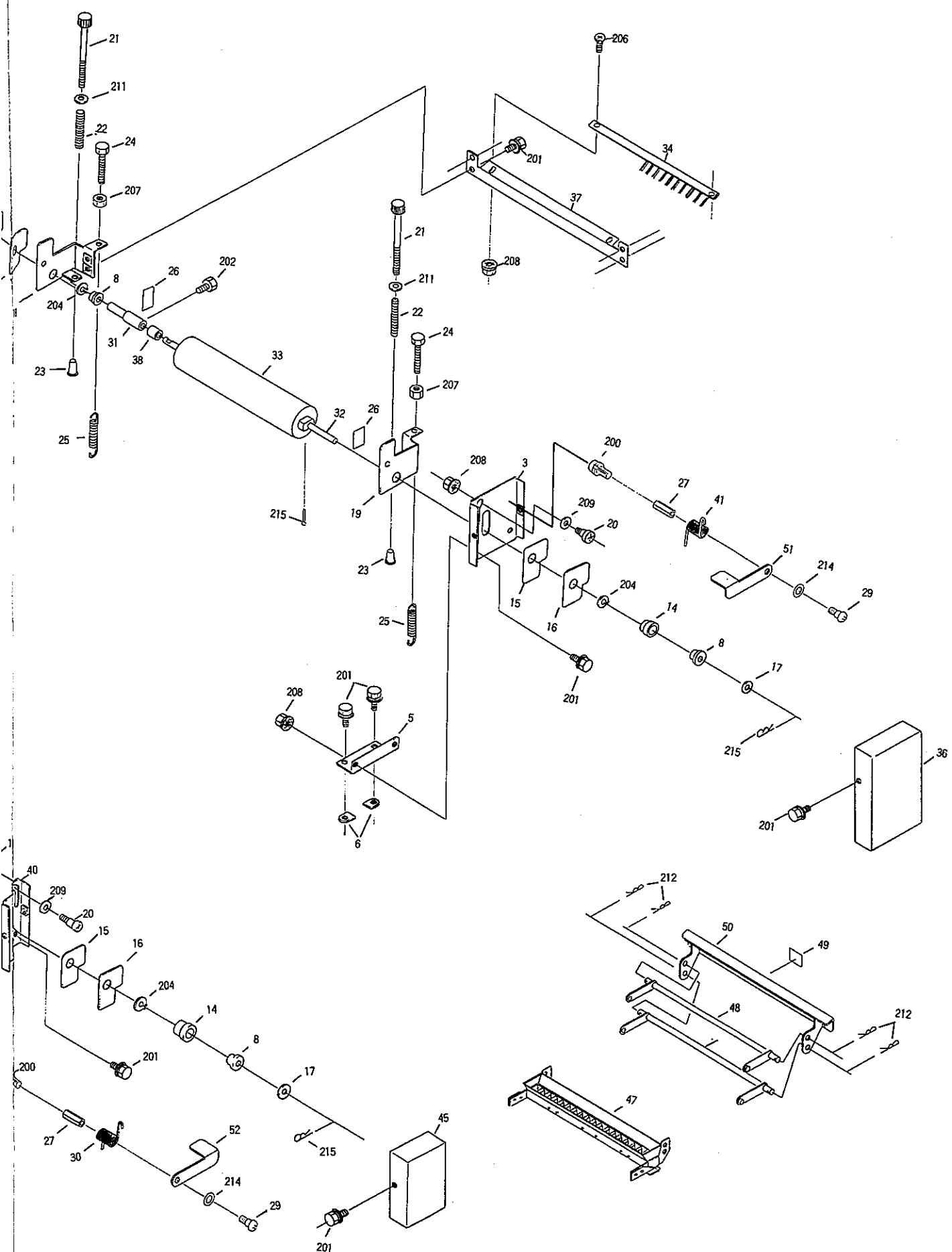


図 No	コ ー ド	名 称	個 数				名 称			個 数			備 考
			HS-225A	HS-225B	HS-225D		HS-225A	HS-225B	HS-225D		HS-225A	HS-225B	
1	20062-31092	サイドスタンンド(右) A	1	1	1						1	1	1
2	20005-411	オイルレスペアリング	2	2	2	10×13					1	1	1
3	20062-31072	サイドスタンンド(左) A	1	1	1						2	2	2
4	20062-41080	取付板(左)	L2	L2	L2						4	4	4
5	20062-41080	取付板(右)	R2	R2	R2						4	4	4
6	20033-41020	マワリ止メナット	8	8	8	M6					56		
7	20062-41020	ロッド(A)	2	2	2						57		
8	20000-41320	オイルレスペアリング	8	8	8	10×13(白)					58		
9	20062-41030	ロッド(B)	2	2	2						59		
10	20062-41041	ロッド(C)	2	2	2						60		
11	20062-41100	平歫車(35)	2	2	2	m=1 z=35					61		
12	20050-31270	平歫車(48)	6	6	6	m=1 z=48					62		
13	20208-42303	スペーサー	4	4	4	t=0.8					63		
14	20062-41061	輸受ボス	2	2	2						64		
15	20062-41120	ブラインドテープ	4	4	4	t=0.3					65		
16	20062-41071	ブラインド板	4	4	4						66		
17	20062-41250	スペーサー(1.0)	4	4	4	t=1.0					67		
18	20062-31032	調節金具(左)	2	2	2						68		
19	20062-31042	調節金具(右)	2	2	2						69		
20	20050-41310	段付ネジ(II)	4	4	4						70		
21	20051-31010	調節ネジ	4	4	4						71		
22	20108-44150	庄締バネ	4	4	4						72		
23	20107-41018	ゴムキャップ	4	4	4	エンビ					73		
24	20107-41024	調節ボルト	4	4	4	M6×60					74		
25	20108-44120	スプリング	4	4	4						75		
26	20138-41450	目盛マーナー	4	4	4	#725					76		
27	20035-41160	支柱(A)	4	4	4						77		
28	20062-41050	ロッド(D)	2	2	2						78		
29	20030-45128	段付ネジ(B)	4	4	4						79		
30	20062-41230	ネジリバネR(溝付)	2	2	2						80		
31	20062-41090	ボンホルダー	1	1	1						81		
32	20062-41130	溝付ローラーシャフト	1	1	1	Φ10×400 (20条)					82		
33	20108-34134	溝付ローラー完結	1	1	1						83		
34	20112-34125	ブッシュ(20)	1	1	1	(20条)					84		
35	20062-31050	カバー(A)	2	2	2						85		
36	20062-31060	カバー(B)	1	1	1						86		
37	20062-41172	ブライシ取付板	1	1	1						87		
38	20036-41200	カラーリ	1	1	1	ℓ=21.5					88		
39	20062-31102	サイドスタンンド(右) B	1	1	1						89		
40	20062-31082	サイドスタンンド(左) B	1	1	1						90		
41	20062-41240	ネジリバネL(鎮正)	2	2	2						91		
42	20062-41120	鎮圧ローラーシャフト	1	1	1	Φ10×453					92		
43	20112-44121	鎮圧ローラー	1	1	1						93		
44	20062-41190	スクレッパー	1	1	1						94		
45	20062-31180	カバー(C)	1	1	1						95		
46	20062-41182	スクレッパー支特板	1	1	1						96		
47	20042-30170	モミガイヤード(20条)仕組	1	1	1						97		
48	20042-31211	リントニアーム	2	2	2						98		
49	20049-41250	モミガイドラベル	1	1	1						99		
40	20049-31080	モミガイド取付板	1	1	1						100		

図 No	コ ー ド	名 称	個 数				備 考
			HS-225A	HS-225B	HS-225D		
200	20000-41730	バネ組込六角ボルト	4	4	4	M6×12	
201	20000-41780	バネ平組込六角ボルト	23	23	23	M6×12	
202	20000-42000	十字穴付六角ボルト	1	1	1	M5×8	
203	02100-01010	C型止メ輪	4	4	4	軸用φ10用	
204	02100-01710	C型止メ輪	4	4	4	軸用φ17用	
205	01000-00612	六角ボルト	2	2	2	M6×12	
206	01110-00620	十字穴付ナベ小ネジ	2	2	2	M6×20	
207	01200-00605	六角ナット	4	4	4	M6	
208	01250-00606	堅金付ナット	8	8	8	M6	
209	01420-00816	ヒラザガネ	8	8	8	M8	
210	01420-01016	ヒラザガネ	6	6	6	M10	
211	01421-00610	ヒラザガネ	8*	8	8	M6	
212	01501-00510	Rビン	4	4	4	φ5	
213	01501-00918	Rビン	2	2	2	φ9	
214	01420-00812	ヒラザガネ	2	2	2	M8	
215	01500-03025	割ビン	6	6	6	3×20	
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							

実り豊かな明日をひらく——

株式会社 スステック

〒321 宇都宮市平出工業団地44-3
代 表／TEL.028(664)1111 FAX.028(662)5592